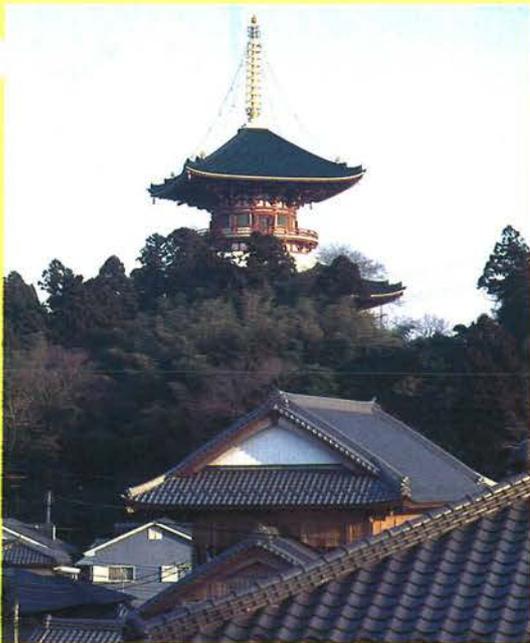




創造

響かそう 世界へライオンズの鐘



特集 沼田武県知事 新春対談
林静誠ガバナー

創造3C (クリエイト・チェンジ・チャレンジ)

NO3

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 地区ニュース1996年1月1日発行 (1995-1996)

創 造

No. 3

1995年～1996年
ライオンズクラブ国際協会
333-C地区 地区ニュース



CONTENTS

目次

ガバナー新年あいさつ	3
特集 林静誠 ガバナー 沼田武千葉県知事 「新春対談」	4
ワンダー国際会長公式訪問	9
東洋・東南アジアフォーラム 第2回キャビネット会議開催	10
レオ地区誕生	11
写真で綴るガバナー公式訪問	12
歴代ガバナーおもいでばなし	16
元ガバナー L. 松丸 善次郎 元ガバナー L. 江畑 耕作	
チャーターナイト	18
松戸グリーンLC 船橋グリーンLC	
レオクラブ結成確認書伝達式	19
船橋中央レオクラブ	
成田LC. CN30 / 船橋東LC. CN25	20
クラブ活動レポート	21
東金ライオンズクラブ 茂原たちばなライオンズクラブ 茂原長生ライオンズクラブ 9R1Z.4クラブ 房州朝夷ライオンズクラブ 館山南ライオンズクラブ 館山中央ライオンズクラブ 館山ライオンズクラブ 干潟ライオンズクラブ 旭ライオンズクラブ 銚子ライオンズクラブ 佐原ライオンズクラブ 下総ライオンズクラブ 3R9クラブ 柏グリーンライオンズクラブ 柏ライオンズクラブ 松戸中央ライオンズクラブ 市川東ライオンズクラブ 鴨川ライオンズクラブ 君津ライオンズクラブ	
地区PRセミナー開催	29
松井天山・鳥瞰図	30
木更津市 佐原市	
YEレポート	32
ライオン広場	39
L.市村 衛 L.林 寛躬 L.安藤 英夫 L.杉野 秀夫 L.小泉 吉則 L.青木 芳政 L.畔蒜 治 L.椎名 英夫 L.松本 衣子 L.太田 隆 L.秋葉 琢磨	
新書紹介 / 内局だより	45
編集後記	46

表紙

「成田空港」
「成田航空博物館」
「成田山新勝寺太塔」

テーマ

地区内の国際的な多
くの人の集まる場所

6R・2Z
八街グリーンライオンズクラブ
L. 長谷川 高司

他 提供

創造

題字は
地区ガバナー
L. 林 静誠

ガバナー
新年挨拶

明日のために 今日、行動を！！

新年おめでとうございます。

メンバー各位には輝かしい新年を迎え本年もご繁栄とご多幸の一年でありますようご祈念申し上げます。

昨年は、年頭から暗いニュースが続きましたが、その中であっても阪神淡路大震災においては、日本中のメンバーの暖かいご支援が感動を呼びました。又、日本人の温かな心を垣間見る事も出来、特に若い方々のボランティア活動には感銘いたしました。

21世紀を目前に世界は地球時代へと変化してまいりました。地球の未来にとって、世界中の人々が互いに理解し合うことが、いかに大切かは説明するまでもないと思います。

そこで、私達は、この新しい時代の役割を考え「21世紀に向けて何が求められているか」を考え準備をしなければなりません。日本が国際社会の中で求められているものは、世界の平和と安全を希求し、貢献してゆくことです。

そのためには、多くの国々の若者たちが交流し、言葉や文化、習慣を乗り越えて、お互いに理解し合い連帯感を持つ事が極めて重要なことです。

それには、たくましい生命力と、正しい判断力、そして国際社会でリーダーシップを発揮する個性豊かな若者の育成、発掘こそライオンズに与えられた重大なそして最大の義務であり、責任であると確信しております。

そこで本年は「響かそう世界へライオンズの鐘」のスローガンのもと、青少年健全育成のために「千葉県青少年振興基金」を設立いたしました。

「明日のために、今日、行動しましょう。」

21世紀の扉を開くカギは私達ライオンズメンバー、一人一人の手にゆだねられております。

ライオンズクラブ国際協会
333-C地区ガバナー

L. 林 静誠



千葉県知事

沼田 武氏

林ガバナー あけましておめでとうございます。本日は、お忙しい中、時間をお作りいただきまして誠にありがとうございます。

沼田知事 おめでとうございます。ガバナーの仕事は大変だと聞いております。御苦労様です。ライオンズクラブの皆様には、いろいろな県の行事にも積極的に御協力いただき、いつも感謝しております。昨年の「全国都市緑化ちばフェア」にも協賛いただき、お陰様で立派な催しになりました。

林ガバナー 知事さんの仕事に比べれば遊んでいるようなものです。(笑) 緑化フェアには、何回か足を運びましたが、そのたびにさわやかなホッとした気分させていただきました。

沼田知事 特に後半は、大勢の方々に訪れていただき、盛り上がるうちに閉幕となりました。イベントも豊富で皆さん喜んでいただけたようです。

県民一人一人の幸せを大切に、県民と共に新しい時代をひらく
「ちば新時代5か年計画」

林ガバナー ところで、知事さんの進めてこられた「さわやかハートちば5か年計画」も最後の年度を終わろうとしています。

沼田知事 豊かさを実感できるふるさと千葉づくりを基本目標に「心豊かな暮らし」と「未来を拓くふるさと千葉」を目指して、県民の皆様がさわやかな心で生き生きと暮らせる新しいふるさとづくりを進めてきた「さわやかハートちば5か年

計画」ですが、おかげさまで計画は順調な進展を見ており、県の発展、県民福祉の向上に着実な成果を上げてまいりました。

林ガバナー 快適な住環境の整備など目に見えて推進されているという印象ですね。

沼田知事 具体的には、千葉県環境憲章、環境基本条例の設定や千葉県環境会議の設置など「環境先進県ちば」に向けての取り組みを行ったほか、地域保健医療計画や千葉県老人福祉計画を策定し、福祉が充実し生涯健康で安心して暮らせる社会づくりを推進してきました。

林ガバナー 幕張新都心、かずさアカデミアパーク、そして東京湾横断道路などのピックプロジェクトの進行状況も順調のようで県民の一人として期待がふくらんできます。



葉県へ向けて 力を発揮しよう!

333-C地区ガバナー

林 静誠

沼田知事 「さわやかハートちば5か年計画」は、昭和59年に策定した県の長期指針である「2000年の千葉県」の第2期の総合計画だったわけですが、本年4月からは、その第3次の5か年計画がスタートします。新しい世紀の幕開けに向け、県はこれまでの成果を開花させて、時代の流れを先取りした積極的な県づくりを進めていきます。県民一人ひとりの幸せを大切にしながら、県民と共に新しい時代を開拓していこうという趣旨から、名称を「ちば新時代5か年計画」としました。

林ガバナー それは、いいネーミングですね。

沼田知事 この計画は、私たちが誇りを持って次代に託せる「ふるさと千葉」の創造につながります。

林ガバナー その新しい計画についてもう少しお聞かせください。

沼田知事 個々の施策については、皆さん目にする機会も多いと思いますので、今日は、その策定に当たっての基本的な視点をお話ししようと思います。21世紀に向けて、高齢化、少子化、環境問題等の多くの課題がありますが、高齢化問題一つをとってみても、社会福祉や保健医療の特定の分野だけからの対応では十分ではなく、社会のしくみ全体を高齢化に適したものに変わっていく姿勢が必要になっています。様々な政策課題に対して、社会のしくみ、システムをどのように変えていく必要があるのかという視点から総合的に対応していくことが求められているのです。

その基本となるのが、「ひと」の幸せ、精神的、文化的な価値の実現であり、「まち」の安全性・利便性の一層の向上や「産業」の振興だけではなく、「環境」と調和した社会、「福祉」や「文化」を重視する社会づくりを進めていかなければならないと考えます。

林ガバナー 全く同感です。

沼田知事 県民一人ひとりが充実して、生き生きと生活するという「ひと」の視点、快適な生活環境を築きながら自然と人の営みが共生するという「環境」の視点、人々のさまざまな営みの場である「地域」の発展という視点、国内はもとより「世界」との交流という視点、この4つの点を踏まえて各種施策及び事業を検討してでき上がったこの「ちば新時代5か年計画」の推進に全力を尽くしたいと思います。

林ガバナー 21世紀の首都圏をリードしていくのは千葉県だと常々思っているのですが、知事さんの各施策を推進していく上での基本的なお考



新春対談

えを聞いて、その感を強くしました。何事にも積極的な姿勢はいつも敬服しているところですが、さらにチャレンジして行ってほしいと思います。

沼田知事 チャレンジ。大事なことですね。今日見せていただいた「創造」という皆様方の機関誌の表紙にも載っていますね。* クリエイト・チェンジ・チャレンジ”。林さんの今期の方針ですか。

林ガバナー 3つのCの実践ということをメンバーに強く訴えています。これは、ライオンズクラブだけではなく、あらゆる社会を生きていく上での大切なことだと思います。

沼田知事 自分自信に問いかけて、新しい自分になって、そして自信を持つての挑戦ですね、私も県民の皆様と共に、千葉県の新時代にチャレンジしましょう。



林ガバナー 嬉しいお言葉です。私たちは21世紀に向けて準備しなければなりません。知事さんと一緒に3Cの実践にチャレンジしましょう。(笑)



——ビッグプロジェクトも順調に進行——
(千葉県側橋梁部 完成予想図)

資源のない日本で最大の財産は若者

沼田知事 林さんは若いころから青年団活動や青少年の健全育成の活動を続けていらっしゃるとのことですが。

林ガバナー ええ。私が、千葉県青年団協議会の会長をしていたのは、東京オリンピックの頃で、日本に国際化の芽が吹き出し始めた時です。県に青少年対策本部が設置され、県内の青少年団体と共に、千葉県青少年団体協議会を結成して、キャンプ場や青年バス運行、青少年海外派遣、青年館の設置、(財)青少年協会の設立など千葉県青少年問題協議会に提案して実現しました。協議会で知事さんのお母様と一緒に活動させていただきました。

ライオンズクラブは御承知のように各クラブが地域と密着した幅広い奉仕活動をしておりますが、私が本年度とくに力を入れているのは、青少年育成の問題です。

沼田知事 次代を担う青少年が、自主性と社会性を備え、豊かな教養と広い視野を持ち、心豊かで健やかなたくましい人間に成長することは、県民的課題であり、すべての県民の願いです。しかし、近年、核家族化、少子化、都市化さらには、国際化、高齢化、情報化など青少年

を取り巻く社会の環境の変化が急速に進み、物質的豊かさや生活の便利さが実現される中で、青少年の心の豊かさやたくましく生きる力が失われているのではないかと感じているところです。

林ガバナー 地域における人と自然とのふれあいの減少、遊びを通しての仲間づくりの減少、そして高学歴化による生活時間の中でのゆとりの減少と我々の時代と比べると本当に違ってきています。そして、今、知事さんのお話にあった情報化、国際化の波。

沼田知事 社会との関わりを深めていくことが、青少年には必要です。大人も自分や家族のことにのみに関心を持つのではなく、連帯感のある地域社会の実現を目指してお互いに協力し合うことが大切ですね。



—— 青少年に国際交流の場を ——

林ガバナー 先程の「さわやかハートちば5か年計画」の中でも青少年健全育成の問題については大きな比重を置いて取り組んでいただいていますね。

沼田知事 はい。具体的にいくつかあげますと「生涯学習ボランティア活動総合推進事業」をはじめとする各種のボランティアの養成講座を開催することによる青少年の社会参加の促進や、「少年自然の家」の建設などの青少年育成施設の整備等、ソフト、ハード、両面から青少年の健全育成施策に取り組んでいます。

また、国際化に伴う青少年指導者の海外派遣や青年を対象にした「さわやかハートちばクルーズセミナー」事業など国際性豊かな青少年リーダー養成や青少年の育成も行っています。これらは、平成8年度からの「ちば新時代5か年計画」でも重要施策の一つとして位置づけ、各事業の積極的な展開を図っていきます。

林ガバナー 国際化の話が出ましたが、21世紀に入ろうとする今、国際感覚を持った青少年の育成が非常に大切だと思います。どこの国においても、その国の持っている財産の中で、一番大切なものは青少年です。資源のない日本においては特にです。そんな若者たちの交流の場をどんどん提供していくことが我々ライオンズクラブの重要な役割の一つです。国際交流はまず人と人との関わり合いが原点です。

沼田知事 この地区ニュースに掲載されている「YE, LEOサマーキャンプ」などが林さんのおっしゃるその「場」ですね。写真を見ると、子供たちいい顔してますね。





「首都圏のリーダーへ」 新東京国際空港
(6 R 2 Z 八街 L C. L. 大給 鳳祐提供)

林ガバナー

ユース・エクスチェンジといい、毎年、青少年を日本から派遣したり、海外から招いたり、交流をずっと続けているのですが、そんな青少年が全員参加してのキャンプの様子がこれなんです。去年はレオクラブも参加して大規模なものとなりました。子供だけじゃなく、大人たちもいい顔してますよ。(笑)

沼田知事

本当にみんないい顔してる。(笑)
YE活動については私も知っています。30年以上も続いている素晴らしい活動だと思います。ところでレオクラブというのは。

林ガバナー

ライオンの子供でレオです。(笑) 地域の奉仕事業に参加し、社会性を学んでもらい、青少年交換などを通じて国際感覚を身につけてもらうと同時に各種プログラムにチャレンジさせて自己啓発させようというものです。

沼田知事

ボーイスカウトやガールスカウト、少年野球チームなどの育成にも頑張っておられるクラブも多いと伺っています。青少年育成に関するライオンズクラブの皆さんの御尽力には本当に感謝しています。

林ガバナー

YE活動の充実、拡大、そして今ご説明いたしましたレオクラブ活動の推進、また、外国人留学生への奨学金、援助活動などの事業を積極的、安定的に推めるためにはライオンズクラブとして県内に確固たる目標を定めた財団設立が不可欠ではないかと考え、まずその第一段階として昨年の会議で「青少年振興基金」を設立いたしました。ライオンズクラブはこれからも青少年育成に一生懸命取り組んでいきます。

目標達成のためにはリーダーシップが不可欠

沼田知事

青少年の健全育成でも、他の問題においても、私は常々、何か物事を行っていく上で、その目標を達成しようとするには、カネやモノの面からの議論だけでなく、適切かつ効果的な指導力の発揮という側面からの議論がさらに尽くされる必要があると考えています。

林ガバナー

実は、今年度のライオンズクラブのウィリアム・H・ワンダー国際会長もそのことを強く言っています。指導力は目的を達成するための基本的資源であり、我々を成功に導く決め手になると。優れたリーダーに共通しているのは、向上のためには、今までの方法、習慣にこだわらず、変革することを恐れないことだと私は思うのです。もちろん良い伝統を大事にすることは言うまでもありませんが。

沼田知事

ライオンズクラブの皆様は、すでに地域において奉仕活動その他の中心的役割を果たしているわけですが、リーダーシップについて、新たに認識なさって活動されるというのは心強いですね。

これからも地域社会の発展のために、また青少年健全育成のためにリーダーシップを大いに発揮されて御活躍なされることを期待しています。

林ガバナー

千葉県発展は我々県民の願いです。* ちば新時代* へ向けてますますの御活躍をお祈りいたします。

本日はありがとうございました。



沼田県知事を囲んで

(左からキャビネット会計 L 中 良一、ガバナー L 林 静誠、沼田 武知事、キャビネット幹事 L 鈴木 利一)

ウィリアム・H・ワンダー国際会長来たる!

**国際会長
公式訪問**

「95～96ワンダー国際会長公式訪問」

330・331・332・333・334複合地区合同によるウィリアムH.ワンダー国際会長公式訪問並びに歓迎晩餐会が1995年12月4日東京会館に於いて地区内より700名が参加して開催された。ワンダー会長のライオンズとリーダーシップについてのあいさつがあり、そのあとこの度初めて質問タイムがセットされ地区分割等について質疑応答があり、2時間余であったが有意義な公式訪問であった。



東洋・東南アジア フォーラム

東洋東南アジアフォーラム開催

12/7～12/10・香港



第34回東洋東南アジアフォーラムに参加して

地区幹事 L.鈴木 利一

第34回東洋東南アジアフォーラムが地区内2万余名の会員を集めて12月7日より10日迄香港に於いて開催された。私は香港は3度目の旅であったが数10階の近代的なビルが立ち並び、高級車が走り、流行のファッションがあり世界のトップ都市である反面、中国の古い伝統が生きている不思議な都市であると来るたびに感じる。2年後中国に返還されるとの事であるが中国も香港も双方この返還を99年待っていたという感覚は香港の町からは感じられなかった。

さて2万余を集めたフォーラム、ワンダー会長を迎えた盛大な開会式であった。4日間にわたり綿密なスケジュールを見て大会役員に感謝申し上げたい。しかし開会式に於ける退席者の多いにはおどろいた。2時間の式典中1時間をすぎると70%～80%の会員が退席した。式典内容は一考する事が多々にあると思う。国際交流と友情のフォーラムであるが香港コロシウムに全員が集まるのは開会式の2時間とインターナショナルナイトの1時間しかない。これでは初期の目的が達成されない。期間中種々企画されているが周知されない事が多い。参加者の多くは観光と買い物为目的の日程がくまれている開会式に出席しないとフォーラム参加の意味がない。マンネリ化したフォーラムを打開するには開催地にLCIFのような合同アクトを参加者全員が行う事により交流と友情が促進されるのではないかと感じた。香港フォーラムは楽しい旅を満喫する事ができました。333-C地区参加者の皆様に深く感謝申し上げます。

フォーラム参加クラブ

登録クラブ	2 R 1 Z	松戸ライオンズクラブ
	4 R 1 Z	船橋中央ライオンズクラブ
	4 R 1 Z	鎌ヶ谷ライオンズクラブ
	4 R 1 Z	船橋ポートライオンズクラブ
	4 R 1 Z	船橋さざんかライオンズクラブ
	4 R 2 Z	船橋東ライオンズクラブ
	5 R 1 Z	千葉ライオンズクラブ
	5 R 1 Z	千葉中央ライオンズクラブ
	5 R 1 Z	千葉ポートライオンズクラブ
	5 R 2 Z	千葉エコライオンズクラブ
	6 R 1 Z	八街ライオンズクラブ
	9 R 1 Z	館山ライオンズクラブ
自由参加クラブ	4 R 1 Z	船橋ライオンズクラブ

1995年11月19日、千葉県労働者福祉センターにおいてライオンズクラブ国際協会333-C地区1995～1996年度第2回キャビネット会議が開催されました。

ガバナー提出議案と委員長提出議案は下記の通り提案され承認可決されました。

ガバナー提出議案

- 第1号議案 次年度地区ガバナー候補者推薦の件
333-C地区の次年度ガバナー候補者として、地区全10リジョン委員会より推薦書の提出がありました、現副地区ガバナーL浮谷 俊行（松戸LC所属）を推薦致したく、提案します。
- 第2号議案 次年度副地区ガバナー候補者推薦の件
333-C地区の次年度副地区ガバナー候補者として、地区全10リジョン委員会より推薦書の提出がありました、L飯塚 一郎（成田LC所属）を推薦致したく、提案します。
- 第3号議案 年次大会議事規則承認の件
333-C地区年次大会議事規則、予算案、第42回年次大会議事運営構成表、運営構成表、決議委員会（フォーラム）担当委員を提案します。
- 第4号議案「千葉県青少年振興基金」設立について
本年度最重要目標に掲げている青少年健全育成を目的とした財団を設立したい。当面「千葉県青少年振興基金」を新規設立し、その運営を図りたい。
- 第5号議案 青少年フロンティアアドベンチャープログラム実施の件
自分の足で、目で肌で国際観を感じさせ、現代日本の青少年に不足している事が何かを発見し、次代の地域リーダーとなることを目的に実施する青少年プログラム。
- 第6号議案 YE緊急援助資金を「千葉県青少年振興基金」に繰入れする件
YE活動に於ける不慮の事故に対する援助資金として積立てた資金を上記基金に繰入れ運用する。
- 第7号議案 地区大会アワード、地区ガバナーアワード等賞旗簡素化の件
千葉県単独地区15周年を契機に簡素化の一環として賞旗をコンパクトにし通年化してゆく。
- 第8号議案 第1回333-C地区ゴルフライオンズカップ実施の件
各ライオンズクラブに於いて親睦を兼ねたゴルフ大会が盛んに実施されているので年1回地区内チャンピオン大会を実施して、友情の輪を広げてゆく。
1) ライオンズカップ
1) ライオンズシニアカップ (60才以上)
1) ライオンズレディースカップ (新ペリア式ハンディキャップ戦)
1) ガバナーズカップ ()
日時：1996年1月22日 場所：真名C. C

●第9号議案 333-Cレオ地区承認の件

地区内に6またはそれ以上のレオクラブがライオンズクラブによってスポンサーされ、ライオンズクラブ国際協会がそれを承認した場合、地区ガバナーは地区形成を承認する事ができる。地区LEO委員長より申請されたので承認したい。

●第10号議案 年次大会会場固定化検討委員会の設置の件

毎回大会会場選定、設備、設営のため多くの事を費やすため、大会本来の目的を達成する事に苦慮する。又、ライオンズ活動も年次大会準備のため多くの労力を要する。これを打破するため述記委員会を設置し、会員から期待される大会とする。

委員長提出議案

地区献眼・献血・献腎推進委員長
L. 鈴木 行正

献眼・献血・献腎推進委員会提出議案

- 第1号議案 アイバンク・アクティビティの件
財団法人千葉県アイバンク協会に本年度も単位クラブの自主的な判断により、献眼登録及び助成金をアクティビティにするように勧奨して頂きたい。
- 第2号議案 献腎登録呼びかけについて
千葉県ヘルス財団の献腎推進運動への協力として、地区内メンバーに対し、献腎登録を勧奨して頂きたい。
- 第3号議案 献血推進と献腎推進研究会の開催について
毎年度、継続開催されている地区献腎推進研究会を明年1月に開催して頂きたい。

地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員長
L. 植村 カ子

「日本網膜色素変性症協会」に単位クラブの自主的な判断により、クラブ又は個人のACTとして支援会員となるように勧奨して頂きたい。



レオ地区誕生！

地区レオ委員長 L.塚田 裕也

【1995年10月29日】

ついに、レオ地区が誕生しました。正式な名称を333-Cレオ地区と言います。1ライオンズ地区に6クラブ以上のレオクラブができたときに、その地区の名称を使ったレオ地区を形成することができることになっています。333-C地区にとって、1995年10月29日が、その歴史的に記念すべき日となりました。

【レオにガバナー相当役が出現】

その日は、地区にとって6つ目のレオクラブである船橋中央レオクラブの結成確認書伝達式（ライオンズクラブの認証状伝達式に相当する式典）の日でもありました。式典終了後、式典に出席した地区の全レオクラブ会員とガバナーをはじめとするライオンズクラブの地区役員が参加する333-C地区レオクラブ全体会が開催され、レオ地区形成が議決され、ガバナーの承認をいただきました。現在、レオ地区役員の出選手続きが進行中で、近いうちに、レオ地区会長（ガバナーに相当する役職）をはじめとするレオ地区役員決定のお知らせができる運びとなりました。

【レオ地区とは何か】

青少年のためのライオンズクラブの組織であるレオクラブの地域的な集まりを、「レオ地区」と言っています。その点では、ライオンズ地区と趣旨は全

く同じです。ただ構成員がレオという青少年であるため、地区を設ける目的は、地区内のレオクラブ・プログラムの方針及び、目的を推進するための管理組織とされています。

【レオ地区の機能】

レオ地区は、管理的目的を別にすると、日常活動を推進する機能をもっています。例えば、とかく独立しがちなレオクラブを地域的な集まりで鼓舞しあい、地域的な規模での活動を可能にし、更に、より広域的な、レオ複合地区という広がりに参加することができるようになります。

【333-Cレオ地区の現状】

現有の6クラブに加えて、12月23日の八千代東レオクラブの結成式をかわきりに、8ライオンズクラブに、レオクラブ誕生の胎動が起こっています。従来型の金銭的・労力的ACTは、政治的な政策の浸透によって、必要性が薄れてきています。これからのライオンズクラブが目指すべき重要なACTの方向は、次代を築く青少年の奉仕の精神を育成することではないでしょうか。レオクラブのつくり方についての説明に、資料をもって参上しています。レオクラブとは何かをお聞きいただだけでも結構です。お誘いのご連絡をお待ち申し上げます。連絡先はキャビネット事務局です。



写真で綴る
ガバナー公式訪問

平成7年9月2日から11月9日にかけて「ガバナー
迎をうけ、会場はどこも大変盛り上がったものとなり

世界各国の青少年が民族衣装を着て
「響かそう世界へライオンの鐘」を鳴らした。



ライオンズ・ローア



奥さま方が、ライオンの支えです

地区ニュース「創造」を手にチャレンジ7を熱弁



お祭り大好き!



指導力とは「3C」そのもの

浦安 LC 幹事 L 醍醐 重盛

第78回国際大会に私も参加させて頂きましてインターナショナルパレードに参加している林静誠ガバナーの満々たる笑みの顔を拝顔し私も浦安ライオンズクラブ幹事を任命され不安と期待との狭間のなか大変勇気づけられました。浦安ライオンズクラブもガバナースローガン「響かそう世界へライオンの鐘」を基本にし会長スローガン（和の心愛ある奉仕）を大切にこの1年間ライオンズクラブを通じて勉強をしていく決意しております。幸いにも前年度テーマを経験させて頂き前3役には色々のご指導頂きました。その経験を基に熊川秀和会長の基本である和の心をモットーとしてクラブの運営に私の総力を結集しがんばる所存であります。

9月8日（金）1R2Zガバナー公式訪問合同例会に訪問していただき林静誠ガバナーのご挨拶を拝聴して創造3C（クリエイト・チェンジ・チャレンジ）の大切さを痛感いたしました。先程333-C地区、地区ニュースを拝読させて頂き国際プログラム「指導力」とは（創造3C）そのもので有ると理解をいたしました。経済情勢の混迷する今こそ「指導力」が要求される時であります。創造し変革をして行く中色々な障害に突当ります。執行部一丸となりそれを恐れず挑戦して行きたいと思っています。

写真で綴る
ガバナー公式訪問

公式訪問”が行われました。各リジョンより暖かい歓迎しました。参加ライオンよりの報告と写真で綴ります。



クリエイト・チェンジ・チャレンジ
を訴える林ガバナー



ガバナーみこし(?)に
ガバナー踊り(?)



真剣に聴きいる各ライオン



目標の実現に向けて情熱的！

2R・PR情報委員 L 吉澤 武
2Rの地区ガバナー公式訪問例会は、9月20日(1Z)、9月21日(2Z)、に行なわれました。
例会での林ガバナーのご挨拶は、ガバナー方針、主要事業目標の実現に向かって、精力的、情熱的、ユーモアを交えての話が感動的でした。
TTタイムには、林ガバナーを中心にキャビネット構成員各クラブメンバー全員が一丸となって、和気あいあいの楽しいひとときを過ごしました。

ガバナー秋祭りに酔う

柏グリーンLC・L 高田 浩
恒例となった3R合同例会、女性の柏葉の花LC、柏ライオネスクラブ総勢65名が花を添え、9クラブ434名の例会が開催されました。
林ガバナーの所信表明は若さ一杯の熱弁で時には壇上から離れ会員席のテーブルまで行き、リーダーシップを説く熱演に会場は大変盛り上がりしました。
テールツイスタータイムは祭りをテーマに阿波踊りでスタート、圧巻は50余名で担ぐ本物の大神輿、ガバナーに乗って戴き場内一周、ホール全体が一体となったところで輪踊りと続き3R伝統のテールツイスタータイムを存分に堪能して戴きました。
汗びっしょり飾らないスポーツマン林ガバナーの人柄に多くの会員が感銘を受けました。

各クラブ会長より記念品の贈呈



写真で綴る
ガバナー公式訪問



熱唱！静誠節



「青少年健全育成」に全力



自由 信頼 叡智のきずな
行け行け じょうせい
我らのガバナー
三、思い込んだら 試練の道を
行くが男の ど根性
真っ赤に燃えた L字の仲間
リーダーシップの 実践に
血の汗 流せ 涙を拭くな
行け行け じょうせい
我らのガバナー
(巨人の星のメロディーで)



640名出席の
4R合同例会



熱烈歓迎でガバナーも威佩

4R・1Zゾーンチェアマン L.小西 宗仁
ガバナー公式訪問も漸やく地区内を一巡し去る11月9日、船橋市内のホテルで行われた4R1. 2. 3Z合同ガバナー公式訪問例会が終息となった。L.林地区ガバナーを輩出した地元4Rなるが故に熱烈歓迎と銘打って活気溢るる例会とすべく、4Rでは初の試みである1. 2. 3Zの合同例会を企画し640名の大型例会が実現しキャビネット関係者を驚破させたようだ。

創造に愛を、変革に責任を、挑戦に勇気をと訴える林地区ガバナー意趣に満つ奉仕活動へのリーダーシップへの提起に呼応すべく、この合同例会は簡素に徹し例会後の宴会も省いた異色の内容に出席メンバーが瞠目した。全メンバーの登録料から節約した経費がドネーションとしてまとめられL.近藤幸治RCからL.林地区ガバナーに青少年育成事業資金として金百伍拾萬円が贈呈され盛会裡のうちに心豊かにして簡素な合同例会は閉幕した。



花と女性に囲まれて

写真で綴る ガバナー公式訪問



一、胸に掲げた L字の誇り
 高い理想に 輝くひとみ
 響け 世界へ ライオンの鐘
 命と 名誉と 富かけて
 人に この世に 奉仕のまこと
 行け行け じょうせい
 我らのガバナー

二、広い世界を ひとつに結ぶ
 築く平和の 掟だ
 響け 世界へ ライオンの鐘
 命と 名誉と 富かけて

響けライオンズの鐘



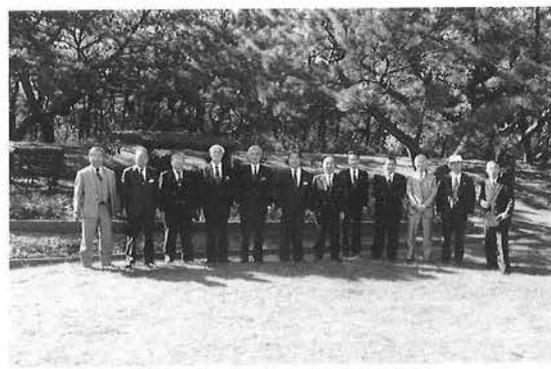
「また会う日まで」



松戸私立高校のブラスバンド演奏による「巨人の星」のメロディーにのって「響けライオンズの鐘」を合唱する。



江畑前ガバナーと舌つつみ



富津ライオンズ公園にて。

3 Cの実践を強調のガバナー

10R・1Z幹事 L 渡部 正雄
 さる9月9日(土)第10リジョンのガバナー公式訪問合同例会がプラザヘイアン茂原に於いて林静誠ガバナーをはじめキャビネット役員をお迎えをして盛大に行われました。

例年のガバナー公式訪問合同例会は第1ゾーン、第2ゾーン別々に行っておりましたが、ガバナー方針でもある簡素化、合理化を経費の節減の一端として実施いたしました。

第1ゾーン8クラブ、第2ゾーン4クラブと12クラブの合同例会であり234名のメンバーの集いとなり今までにない例会となりました。

林ガバナーは口ひげを蓄えておりますが顔に似合わず非常に温厚で親しみ易く、多くのメンバーと親しく接していただきました。またガバナーは笠森寺の住職さんより静という字をいただいて、本名林 誠を林 静誠としたそうです。

「静」という字が必要かなとも思ったりして。

ガバナー方針の中でも特に3C、クリエイト、チェンジ、チャレンジ、の実践について強調されていたように思いますし、今までにないアイデアと感じた次第です。



1993—1994 元ガバナー 松丸善次郎 L を語る

1993—1994 CAB幹事
L.川崎 忠男

1993—1994 CAB会計
L.笹本 瞭

1993—1994 地区総務委員長
L.長谷川 一吉

○はじめに L.川崎 忠男

ガバナーシリーズが地区ニュース2号より始まる内容については、ガバナーは語る、ガバナーを語るでも良いとの事である。ならば曾ての内局三人で語るを企画した。三人とも所属クラブは異なるものの、今でも当時のガバナーL松丸善次郎の思い出はそれぞれに鮮烈である。まずは御二人に語っていただきまとめさせていただく。

○国際協会ダンカーLCIF委員長と約束か？ L.笹本 瞭

1973年第76回ライオンズ国際年次大会（ミネアポリス）参加の折、大会開会式に続きジャパンレセプションで5日振りに松丸ガバナーにお会い致しました。白のディナージャケットにブラックタイの装いは333-C地区を象徴するかの如く、一層目立ったものでした。国際役員を始め多くの方々と挨拶されており、中でも元国際会長ダンカーLCIF委員長とお二人で、親しく懇談の様子が印象的でした。帰国後1R内CAB構成員の会合の挨拶の第一声がLCIFを完遂することを誓われたことでした。おそらくあの時にお約束された事と推察した次第です。

地区にあたっては前ガバナーL矢田LCIF委員長のご指導の元各CSFグループコーディネイターのご努力、メンバー各位のご協力を得る事ができ、国際協会世界700以上の地区中MJF第8位にランクされ数々のアワードの榮譽を得られた。松丸CABの一員として今だに誇りに思っています。



○内局員から見たガバナー L.長谷川 一吉

松丸CABの一員として一年間、感じた事、地区の顔はガバナーだと言う事、我がガバナーL松丸善次郎のお人柄について、いくつか解りました。

●気さく物事をはっきり、わかり易く云う人。●偉ぶらない、飾らない人●権限をできるだけ部下に任かす。整理してみるとお人柄が良くわかります。寛容と理解のあるガバナー方針に基づいて、作業できた事に満足しています。

○おわりに L.川崎 忠男

所属するホームクラブのガバナーを側近にあるものが手放して語るのも面映ゆい。幸いにしてL笹本、L長谷川のお二人が概要を語っていただいた素描の所以である。

幸いにしてLCIFの成果は眩目するものがあつた。松丸ガバナーは事ある毎に皆様のお陰ですと云われて居ります。

終わりよければすべてよし…か

あらためて松丸ガバナーを語りながら、御支援いただいた皆様に深く厚くお礼を申し上げます。



8R公式訪問の思い出

1994—1995 元ガバナー L. 江畑 耕作

ガバナー在職中の思い出として、常に脳裏を離れないのは、ガバナーに任命されたアリゾナ州フェニックス市での第77回国際大会、帰国後の地区内クラブ公式訪問、そして、最後を飾った第41回地区年次大会であります。公式訪問では、全メンバーから大歓迎を受け、こんなに歓待されてよいものかと自省した反面、ガバナー冥利につきるという満足感に浸ってしまったのも事実です。

特に、1994年10月15日の第8リジョンの公式訪問では、終生忘れ難い感動と感銘を受けました。当日、杉浦名誉顧問、飛田リジョンチェアマン、鳥飼、松田両ゾーンチェアマンを始め、地区役員の方々が私達を子櫃塚公園に案内してくれました。そこで行われたのは、見事なメタセコイヤの記念植樹セレモニーであった。記念植樹は天皇や皇族の御来訪を記念して行われるものと思っていた私は、全く面はゆい気持ちで紅白のリボンの巻かれたシャベルを握らせていただいた。傍に「ガバナーL江畑耕作公式訪問記念植樹」と書かれた立派な記念標を立てられた。東京湾横断道路の進捗現場を案内していただいた後、リジョン単位での公式訪問となった。そして、懇親会を含む一連の行事が、常にガバナーを主体とする気配りの下に、盛大且つなごやかに終了した。最後の「また会う日まで」を合唱し乍ら、第8リジョンの方々が、ガバナーという職務に対して、最高の敬意と慰労の意を表すために如何に苦心惨憺されたかが胸に湧きあがり、そのライオニズムと友情に涙の惨む思いがした。



京葉銀行

私たちの
キャンパスには
夢がいっぱい!

夢を育てるアルファ預金

貯蓄預金

スーパー定期

アルファ積立定期預金

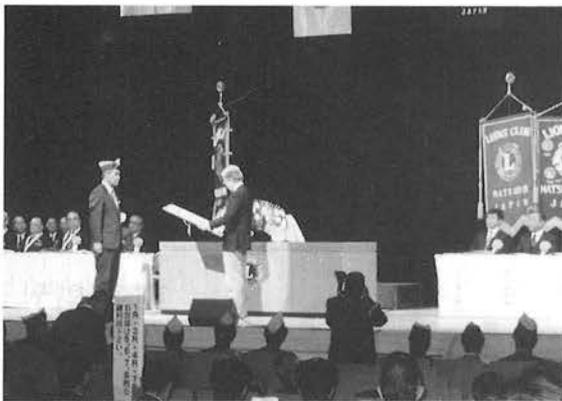
「つとむる」
「積立」

2R1Z 松戸グリーンライオンズクラブ

私共松戸グリーンライオンズクラブは去る11月11日(土)松戸市森のホール21において松戸ライオンズクラブのスポンサーにより、30名のメンバーを似って、333-C地区で105番目、市内で6番目のクラブとして誕生致し、無事チャーターナイトを行うことが出来ました。

キャビネット役員、そして先輩ブラザーの皆様の多数の参加登録を賜り、又記念誌作成に当っては地区役員、市内クラブのメンバーから多くの協賛広告を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

尚、当日不慣れな為、多々至らない点があったかと存じますが慶事に免じてご容赦賜りますようお願い申し上げます。今後共メンバー同心を合わせてライオニズムの高揚を目指し精進して参りますので旧に倍するご指導を賜りますようお願い申し上げます。ここに報告させていただきます。



4R1Z 船橋グリーンライオンズクラブ

船橋グリーンライオンズクラブ(会長 L矢野 弥太郎 会員数45名)の認証状伝達式がさる11月12日(日)大橋和夫船橋市長をはじめ多数の来賓の皆様を迎えてホテルサンガーデンららぽーとで挙行されました。当クラブは7月16日に結成会を行ない以来、佐原正幸CN委員長L以下メンバー丸となってこの日のために準備をしてきました。林ガバナーLより認証状が伝達され「心に深く誓った誇りと自覚で地域に親しまれるリーダークラブと成長する様に願う」と祝辞が述べられ矢野会長L以下メンバーは「ライオニズムの研鑽につとめ奉仕活動に精進する」と厳粛な雰囲気の中で宣誓いたしました。

式典のあと祝宴が開かれ船橋市消防音楽隊やジョニー飯島のラテンバンド等のアトラクションがあり華やかな会場でメンバー同志交流をして友情を深め、感動ある素晴らしいチャーターナイトが開催されました。



船橋中央レオクラブ

結成確認書
伝達式

船橋中央レオクラブの結成確認書伝達式を迎えて
船橋中央レオクラブ
レオ顧問 L.藤原 宏高



平成7年10月29日(日)
於)陸上自衛隊第一空挺団

私の所属する船橋中央ライオンズクラブにおいて、私がレオ特別委員長に任命されてから早1年近く経過いたします。

その当時はレオがライオンズの奉仕活動の中において、いかなる意味を持っているのかも明確に認識しないまま、レオクラブ結成への活動が始まりました。

平成7年3月12日の結成式を経て、平成7年10月29日、船橋中央レオクラブは結成確認書伝達式を迎えることができました。

その間、私たちの集めたレオクラブメンバー達は着実に、そして力強く成長したと思います。そしてまた知らぬ間にレオ顧問という肩書きをいただいた私も成長したと思います。

日本の次代を担う青少年たちがバランス感覚を持ち、社会奉仕の精神を身につけ、そして国際人として通用するようなたくましい人間に成長していくことは、レオ顧問の私にとっては最大の喜びであります。今の日本においては、「子供達を育てる」という視点が欠如しているように思えます。子供達を育てる為には、我々ライオンマンが真剣に取り組まなければならない時代になってきているのです。

お陰様で船橋中央レオクラブのメンバーは、林ガバナーが主催したYE・LEO・サマーキャンプにおきましても、華々しい実績を上げました。

船橋中央レオクラブの結成に尽力された皆様方にお礼を述べさせていただくとともに、今後、船橋中央レオクラブが更に発展していくことを祈ってやみません。



ライオンズクラブ国際協会 333-C地区 第1回ライオンズカップ開催会場

日時 平成8年1月22日(月)



自然との共生をめざして——今年10月、真名カントリークラブに新たに18ホールが増設されます

生命の森

日本エアロビクスセンター ☎0475 (35) 3333
真名カントリークラブ ☎0475 (24) 5211

cn30

初心にかえり、第一歩

6 R 1 Z
成田ライオンズクラブ 30周年

平成7年10月14日(土)成田ライオンズクラブ、30周年記念式典が、林ガバナーを始め総勢500名の御出席を頂き成田ビューホテルにて、盛大に挙行された。

席上、記念事業として成田市社会福祉協議会に、ホームヘルパー用の乗用車3台を始め、333C地区青少年健全育成基金、アクティビティ資金、アイバンク協会、YE生特別派遣等が発表された。

河合雅史会長、飯塚信一式典委員長を始めクラブ員一同、30年のあゆみそして30年の歴史の重さを肌で感じ、各クラブのライオンに感謝しつつ、これからが第一歩と認識し初心に戻る心がまえをした。



写真は左より

- L平山 佐吉 (成田LC幹事)
- Lトーマス,オット (サンプル/LC元会長)
- Lラリー・バルーナ (サンプル/LC会長)
- 小川 国彦 成田市市長
- L黄 永祿 (台湾300地区ガバナー)
- L高 智峰 (台湾桃園県LC会長)
- L河合 雅史 (成田LC会長)

世界に響く友情の輪

cn25

4 R 2 Z
船橋東ライオンズクラブ 25周年
L. 谷内 良弘



すがすがしい10月15日、船橋東LCのCN25周年記念式典が、ホテルサンガーデンららぽーとに

於て厳粛なうちにも、明るく、楽しく挙行された。

333-C地区ガバナーL.林 静誠、姉妹クラブカナダサウスエドモントンLC.スタンリー・クーレー会長、友好クラブ、岡山県笹岡東LC.田中芳三郎会長をはじめとして地区ブラザークラブメンバーの総勢240名のライオンが一堂に会し、船橋東ライオンズクラブのCN25周年を心から祝ったわけである。

とりわけ15年の長きに涉って実践して来たカナダサウスエドモントLCとの姉妹提携により、毎年若い学生達が文化交流の恩恵に浴し広く国際感覚を養い

得た事こそ、真にガバナーがいう「響かそう世界へライオンズの鐘」を具現化したものであると確信している。

祝宴に移り、アトラクションに船橋名物の「ばか面踊り」が始まると、遠来のお客様方には大喜びで共に踊る姿もみられる和やかさで時の経つのを忘れる程。

最後に登場したのがガバナー率いる「林静誠とシーフレンド」楽団である。

ガバナー指揮する楽団による軽音楽に宴はますます盛り上がり、最後にジェンカのリズムに乗って全員による大きな大きな輪が会場一杯に出来たところで「また逢う日まで」に変わって、「星陰のワルツ」でしめくくられた。

この明るく、楽しく、そして高揚した気持ちに、全てのメンバーが酔いしれ、十分に満足されたことと思っている。

この大きな輪と友情こそが、大きな鐘声となって世界に響いてゆくことだろう。

御参集いただいたライオンの健康とクラブのますますの発展を心から祈念してやまない。

10R 2Z
東金ライオンズクラブ

若い人達の ^{400CC} 献血者が増加



去る10月18日恒例の献血奉仕が午前9時30分から市の中心部となるサンピア前の中央公園で開始される。はじめてから血液提供者のとぎれる事なくお昼過ぎてからは行列になりしばらくは立ったままで待っていただき頭が下がる思いであった。献血の良い結果を得るには基本となる条件が揃はなくてはならないと思う。東金LCでは先づ早くからのPRで市内の企業訪問をする。場所と天候次第であり私が当クラブへ入会してからの献血奉仕で雨天は殆どなく好結果で過ぎてきており有難い事である。今回血液提供にと来てくれた人の数が176名あり、然し残念な事に不適確者が内33名あり血液センターの方の話によると以前は来てくれた人数の約一割が不的確であったが最近はこちらでも2割位になってきていると聞かされ心配になる。原因が早く確められその機関を通じて是正されねばならない事ではないだろうか。

若い人達による400CC提供者が増加してきており、高校生が学校の帰途立ち寄って提供してくれるのが実に嬉しい。午後4時になると作業を閉めて本日の結果を集計してみると、提供者が143名血液量が41,800CCと云う有難い善意が集められ我々会員お互いにはほほえみながら後片付けに入った。

敬老祝賀会にメダル贈呈

10R 1Z
茂原たちばなライオンズクラブ

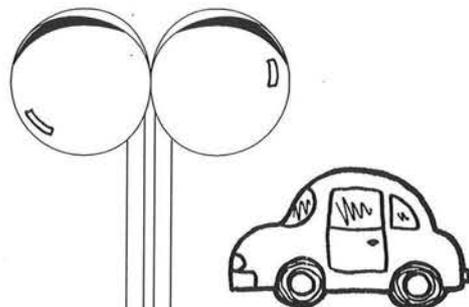
「9月16日茂原市本納小学校区地域ぐるみ福祉」ネットワーク事業推進委員会主催による、敬老祝賀会が本納公民館に於いて開催され、クラブから会長L浅野、幹事L竹本、会計L白井、社会福祉委員会委員長L中田の4Lが出席し、米寿の祝賀対象者15人には金メダル、喜寿の祝賀対象者44人には銀メダルの記念品を贈呈、特に米寿祝賀対象者の方々には、前に出ていただきクラブ会長が個々に掛けて差上げ大変喜ばれました。



10R 1Z
茂原長生ライオンズクラブ

カーブミラーを掃除

10月15日、4班に分かれ、市内のカーブミラー256ヶ所の掃除をした。



9R 1Z
4クラブ合同アクティビティ

4クラブ
合同で 館山駅前で献血



館山、館山中央、館山南、館山北、の4ライオンズクラブは25日、JR館山駅前で「愛の献血」運動を実施。道行くサラリーマンや主婦らに協力を呼びかけた。この献血は各クラブ活動である社会福祉事業の一環として行っているもので毎年、春、秋の2回実施している。この日は午前9時すぎから一般の献血の外 館山LC200cc×67人=13400cc 館山中央LC200cc×107人=21400cc 館山南LC200CC×7人=1400cc 館山北LC200cc×17人=3400cc 尚受付に各クラブより24人116Hの労力アクトをしていただき地元房日新聞を通して沢山の方々にPRされました。

9R 2Z
房州朝夷ライオンズクラブ

親子木工教室をひらく



納涼音楽祭を開催

本年も継続事業として7月14日(朝夷小学校体育館)15日(和田町コミュニイセンター)の2日間、陸上自衛隊第1音楽隊を招いて、納涼音楽祭を開催、町民の方々と共に楽しい夜をすごしました。

8月6日、130家族、約400名の参加で木工教室を開催しました。今回で5回目となるこの催し、千倉町建築士会の後援を本年度よりいただき、過去最高の来場者数となりました。当日はハンガリーよりの夏期YE生のプフルム・カタリンさんも参加し、工作に熱中していました。各自それぞれのアイデアですばらしい作品が出来上がりました。次年度以降も更に地域に密着し、来場者に喜んでもらえるイベントとして継続していきたいと思っています。



9R 1Z
館山南ライオンズクラブ

環境美化に汗

館山南LCが18日館山から西岬の道路沿いのあき缶ひろいや、州崎にある矢尻の井戸公園周辺の草刈りを行った。この清掃作業は、環境美化の啓蒙活動を展開している同クラブの「奉仕デー」として、毎年実施。源頼朝がつくったと言われている遺跡「天尻の井戸」周辺と館山市南部地域の美化に努めようというもの。

この日は松本会長をはじめ約30人の会員が集まり午前9時頃作業が開始された。はじめに、館山から西岬にかけての道路沿いであき缶ひろいを実施、その後11時頃から矢尻の井戸公園での作業が行われた。

会員たちは草刈り機を使って雑草を刈りとっていき1時間ほどで公園はきれいになった。又、あき缶は2トントラックで1台分ほど集められた。松本会長は「これからも地域環境の美化に努めていきたい」と話していた。



9R 1Z
館山中央ライオンズクラブ

ライオンズ梅園を手入れ



10月8日（日）午前9時より12時迄。

三芳村府中宝珠院にある「ライオンズ梅園」の手入れ作業を致しました。1983年10月当時のキャビネットよりいただいた梅の苗木を定植しその後、地元のお寺の檀家さんと協力して枯れたところには補植をしたり、追肥を施し今日に至っております。

館山城下の掃除

9R 1Z
館山ライオンズクラブ



30周年記念に寄贈した、四阿のある館山城下の掃除作業を行った、あいにくの小雨だったが皆、傘をさし長ぐつをはいて、周辺の掃除を行った。以前の掃除作業に於て地区の労人会の皆様と共に作業し又終了後皆様と食事をしたこともあった為、労人会の皆様方が普段から掃除されていて、この日もたいしたゴミもなくメンバー皆、労人会の方々に感謝をしました。地域をまきこんでの奉仕作業は成功だったと思えました。これも地元の新聞社との上手なPRのおかげと思っています。

仮装行列で大いにPR

さる10月10日の体育の日に、私たちの町では町民体育祭が開かれ、当クラブも町制施行40周年記念を祝い、仮装行列に参加した。テーマは、「ライオンの嫁入り」と題し、袴姿のちょうちん持ちを先頭に媒酌人夫妻、現代の世相を表現してか、大腹姿の花嫁と婿、雲助姿の長持ち担ぎ、ウエディング姿、ハワイのムームー姿、ピエロ、一足早いサンタクロース、滑稽な河童の夫婦、マイケルジャクソンや巨乳をペローンと出したモンローさん等々、それぞれ趣向を凝らした雄姿、手には、アクティビティとして取り組んでいる事業を書き込んだステッカーを持ち、町民に爆笑の渦を誘いながら行進、クラブ活動を、大いに町民にPRすることが出来た。その内容は農村の花嫁対策を訴えるステッカーや青少年健全育成、老人福祉、美しい町を作る環境保全、献血、検眼等大切な問題を取り上げた。お陰様で大好評のうちに終了することが出来、メンバー一同大変満足することが出来た。



子供たちのアイデアにびっくり!



9月2日、3日の両日、小学生を対象にした、当クラブ主催の、第17回「海上郡市児童・生徒科学工夫作品論文展」がひらかれました。

アイデアいっぱいの子供たちの作品に、会場を訪れた約1200人の観客は、ビックリしたり、感心したり。優秀作品にはトロフィーと賞状が贈られました。



剣道大会開催



9月23日、第31回青少年健全育成剣道大会が開催されました。約600名もの高校、中学、小学生が日頃の技を競いました。団体優勝には、「銚子ライオンズクラブ優勝旗」が手渡されました。

7R 1Z
佐原ライオンズクラブ

手話講話会



当クラブの重点アクトのひとつである手話講話会を、10月24日佐原高校1年生、生徒教師約390名を対象に行った。これは、昭和56年の国際障害者年を記念して始めたもので現在までに対象生徒数は10,000人に達そうとしている。当日、千葉県ろうあ団体連合会の、講師浅野信子氏・通訳倉田和子氏による講話では小学校4年生で音を失った浅野氏が我々健聴者の想像を絶する御苦労や、手話を多くの人々が学ぶことにより、聴覚障害者の社会生活の向上に多大の貢献をもたらすことをうったえると生徒達も熱演に引込まれ、涙あり、笑いありの感動の1時間半でした。担当の教師いわく「授業でも、生徒達のこんな真剣な表情を見たことがない……」
きょうの感動を機に将来手話通訳をこころざし、ボランティアで活躍される若者が出ることを願ってやみません。

社会を 明るく する運動

早朝キャンペーン

6R 1Z
下総ライオンズクラブ



法務省の主唱により毎年7月を強調月間として、全国的に実施されている「社会を明るくする運動」に下総ライオンズクラブも呼応し、さる7月3日午前7時から1時間、下総町社会を明るくする運動実施委員会の皆さんと共にJR成田線滑河駅前広場で「早朝駅前キャンペーン」を行った。

梅雨空が心配されたが雨はなく、上下4本の電車の通勤通学乗降者約250人に、啓発チラシ・ティシュペーパーなどを配布した。殊に、地元高等学校の通学生が多く青少年健全育成にも役立った事と思われる。

なお、下総ライオンズクラブでは「社会を明るくする運動」



の職旗・ティシュペーパー等の啓発用品と、助成金として実施委員会（委員長＝沢田 正 下総町長）へ3万円の寄贈をした。

市立柏高校吹奏学部部員のマナーに 林ガバナーが賞賛！

3R
合同アクティビティ

— 第3R主催のチャリティーコンサートで —

柏市立柏高校吹奏学部の「第2回オータムチャリティーコンサート」が、林静誠ガバナーを迎え、さる9月27日午後6時30分より、柏市民文化会館で開催されました。主催は、第3リジョン9ライオンズクラブ（柏・我孫子・印西・柏さくら・柏中央・柏グリーン・柏オーク・柏なの花と柏ライオネスクラブ）で、当日は、2000名ちかい聴衆が会場を埋めたのです。

チャリティーコンサートの目的は、林ガバナーの重点目標である「青少年健全育成」を実現しようとするもので、育成基金として、310万5000円を市立柏高校に寄付いたしました。

市立柏高校吹奏学部は、全国でも高い評価をうけており、全日本吹奏楽コンクールに昭和59年以来11回出場し、金賞、銀賞を受賞、昨年4月1日には全日本選抜高校吹奏楽部全国大会で優勝、7月25日には世界大会に出演しております。その他、年40回ほど地域の各種行事で演奏活動をつづけ校内では、「美しい音楽は美しい環境から」を信念のもとに全員で緑化運動を実施しているのです。

すぐれた音楽活動は、部員の清らかな心と礼儀正しい態度が大切であると、指揮者の石田修一先生は部員をきびしく指導しております。林ガバナーはご挨拶のなかで、「私がなによりも感心したのは、面識

のない私に、生徒の皆さんが、今日は、ご苦勞様と元気よく挨拶してくれたこと。これは現在の若い人達にみられない礼儀正しい態度で、これも第3Rのライオンズの皆さんが、吹奏楽部を心から応援している結果でしょう」とのべておられました。そして「こういう第3R各クラブ活動こそ、私の提唱する青少年の健全育成である」と賞賛してくれたのです。

チャリティーコンサートには、地区視聴覚保護・言語障害・盲人福祉委員長の植村力子ライオン（柏なの花LC）が原田東龍さんご夫妻と琴の合奏をいたしました。吹奏楽と琴の合奏をはじめてきた聴衆は心から拍手を送りアンコールを要請、3人は素晴らしい合奏をしてくれたのです。感激した林ガバナーは植村ライオンに花束を贈り、賞賛いたしました。

昨年、第1回の「オータムチャリティーコンサート」では、210万円を寄付し、これが吹奏楽部部員をふるいたたせ、今年、選抜全国大会で優勝、全国一に輝く原動力となったそうですが、こうした「チャリティーコンサート」をつづけることによって、数多くのすぐれた青少年を社会に送りだしてゆくことでしょう。

林ガバナーの目標「青少年健全育成」を、全クラブで積極的に推進してゆこうではありませんか。

柏LC. L寺嶋 周三



グアム

3R 2Z
柏グリーンライオンズクラブ

マリアナスL.Cの45周年式典に参加

1990年、わがクラブの10周年を記念してマリアナスクラブと姉妹クラブ締結をし6年近くになる。マリアナスクラブは1950年マニラライオンズクラブがスポンサーしてグアム島に誕生した古くして伝統のあるクラブである。約50名のクラブメンバーの90%はフィリピン人である。東南アジアの中国人が華僑として成功しているようにこのミクロネシア群島はフィリピン人が経済を握っている。東京ライオンズクラブがマニラクラブのスポンサーで1952年誕生した。南の国の住民らしく大変陽気で楽しいクラブである。式典は7月28日(金)夜8時半頃から行われ延々3時間余、決していそがない。グアム地区の10ライオンズクラブ約150名と



来賓20程度が参加した。地元のグアム政府官僚、州議会議員をはじめ外国からは日本の柏グリーン、京都管野、桜山白さぎ、都城中央、フィリピンマニラの各クラブ数名、グリーンは10名参加した。45周年記念は特に記念事業はなかった、28日の祝賀式典、翌29日(土)の親睦ゴルフ、30日(日)の海辺の公園でのバーベキューパーティーと3日間も続いた。グアム方式の周年行事である。新旧役員交代式は極めて厳粛に三役から理事に至るまで宣誓をさせて行なう。会長同士は鐘を打つ槌の引継ぎとする。この槌の引継ぎが終わるまでの間は例外でも鐘は打たない。この引継ぎで初めて実の会長が誕生することになる。

3R 2Z
柏ライオンズクラブ

手賀沼マラソン大会



第1回の手賀沼ハーフマラソンが10月29日、3461名のランナー参加のもと開催されました。この大会は柏市、我孫子市、沼南町他の主催で初めて開催されました。特に大会スローガン「よみがえる手賀沼さわやかに走ろう」という事で手賀沼をとりまく柏、我孫子、沼南、印西の9ライオンズクラブと1ネスクラブが協賛。そして柏ライオンズクラブの元会長、野口英雄大会実行委員長を初め多くのライオンが大会の中心の立場で企画、実行多くの労をとってくれた結果、開催となりました。私も参加ランナーにとっては本当にありがたい事だと思います。さて当日は雨が降りそうで降らないまさにマラソン日より、リクルートの五十嵐美紀選手他3名の招待

ランナー、そして北は青森、南は鹿児島よりの遠来のランナーも参加、関係者、応援者とおそらく1万人前後の人が10時のスタートに合わせて柏ふるさと公園に集合、いやがおうでも会場は盛り上がり、ライオン仲間、友人、知人の励ましもあり、気分はすっかりハイになってきました。そんな中スタート応援のおかげでわかってはいても前半、飛ばし過ぎ、しかし後半も応援の後押しでなんとか持ちこたえ自己記録を更新し気持ちよく、たくさんの応援者の待つゴールへ飛びこむことが出来ました。又当クラブではL吉田正治ご夫妻が見事初マラソンを完走、その他、私の知る限りでは柏さくらライオンズのメンバー2名が完走、そして見事優勝の栄を得たのは昨年度の3R地区PR情報委員山口恵一ライオンのご子息でした。という訳で当日は気持ちよくおいしいお酒を充分すぎる程、飲みました。ありがとうございました。

柏L.C. L泉 宣寛

クラブ
活動レポート



2R 1Z
松戸中央ライオンズクラブ

“松戸まつり”に参加

10月8日(日)「松戸まつり」に参加しました。地元、鳴門部屋の力士たちによる餅つき大会を挙行、雨にもかかわらず大盛況。3俵の餅はわずか、1時間で売り切れました。ライオンレディの活躍も大変なものでした。

1R 1Z
市川東ライオンズクラブ

第1回 市川リバーサイド健康マラソンを開催

9月23日澄み透った秋空の下、最高年齢80歳を筆頭に北は北海道、南は九州大分から1,070名が参加を頂きゴールへ全員完走の快挙にて閉る事ができました。その一瞬メンバーの誰かれと無く全員一斉の歓声と拍手が鳴り響いた感動は、生涯忘れ得ぬこととなるでしょう。一年前から計画を立て、メンバー全員役割分担を各委員会において種々デスカッションの繰り返しを重ね準備を行ってきましたが、なかなか計画通りに行かず暗礁に乗り上げ壁に突き当たるおもいでした。この様子で果たして開催が出来るだろうか疑問に思った者は私一人でなかったと思われました。



今年度に入り地区ガバナーL・林 静誠のガバナー運営目標のなかで大きく取り上げられております「三つのC」の実践に勇気づけられました。

Challenge そうです、これこそ我々メンバー全員が一丸となりマラソン大会に挑戦出来たのです。**Challenge**が合言葉になり、新旧のメンバーを問わずまた年長組も若手組もひとつになってミーティングの繰り返しでした。その結果メンバー同志のコミュニケーションが大いに深まり成功否かより大きな収穫を得る事が出来ました。幸いにして第1回市川リバーサイド健康マラソン大会もお陰をもちまして成功理に終了することができ、この上も無い喜びをしたための事が出来ました。

ひとり暮らしの
お年寄りに 給食サービス



9R 2Z
鴨川ライオネスクラブ



鴨川ライオネスクラブは結成3年目から開始しております継続アクトの鴨川市心身障害者の福祉作業所のお手伝いに続き、今年度から新たに市内の一人暮らしのお年寄りの給食サービスのお手伝いを継続アクトとして年間計画に取り入れました。「楽しくなければ奉仕ではない」をモットーに地域社会のニーズに合った、しかも無理のない奉仕活動を続けていきたいと思えます。写真は給食を作っている鴨川ライオネスクラブ木下秀子会長以下当番メンバーの方々…ガンバッテいます！房州美人を御覧ください。

8R2Z
君津ライオネスクラブ



持ち寄り品でオークション

7月13日（木）第一例会TTタイム

今年度第一例会に於いて会員手作りの品物や頂き物を持ち寄りオークションをTTタイムに行いました。良い物をいかに安く買うか知恵を絞り、日頃のストレス解消と会員の親睦そして事業資金獲得と一挙三得の第一例会でした。この日の売上金は52,300円で親クラブ3役の方々にも売り上げにご協力いただきました。



地区PRセミナー開催

地域社会とのコミュニケーションが大切

84クラブ・186名の出席をえてPRセミナー開催される

12月5日、船橋グランドホテルにおいて、元・博報堂ディレクター現在イベントプロデューサー、CIコンサルタント等幅広くご活躍の湯沢明先生を講師としてお招きし、「地区PRセミナー」が開催されました。

ライオンズクラブのアクティビティを広く理解してもらうためには、地域社会へのパブリックリレーションが大切であるというお話に、出席した84クラブ、186名のメンバーはあらためて、PRの大切さを認識しました。林静誠地区ガバナーからは、マスコミとのコミュニケーシ

ョンを良くして、我々の理念、行動を理解して戴く事も大切との挨拶があり、講演後も熱心に質疑応答があり意義あるセミナーとなりました。

会場には「クラブ会報コーナー」全国の準地区から寄せられた「地区ニュースコーナー」が設けられ好評をばくしました。



1 21 '94



講師の湯沢 明先生

←会場はギッシリ満員、熱気にあふれる。

千葉縣更木津町鳥瞰圖



聚海書林版

木更津市 (8 R)

千業佐原野鳥瞰圖



聚海書林版

佐原市 (7 R)

前号にひきつづき夏期YE生のレポートをお届けします。また、受入クラブよりの報告書、「YE生の思い出」もあわせて掲載します。

ポーランド来日生 ANNA MARIA DYBICKA



私は7月26日、2人のポーランドの学生とともに日本へやって参りました。最初の3週間は、野田の高木さんと高橋さん宅へ滞在しました。残りの10日間は松戸の山村さん宅へ滞在させていただきました。

日本にいる間、私はホストファミリーの人々から日本の文化は奥が深いということを教わりました。文化の違いを学ぶことはとても興味深いものですが、共通点を見つけることにも喜びを感じました。私は日本人の日常生活、仕事そして休暇の過ごし方などを知ることができました。

私は3日間のサマーキャンプで日本人だけでなく、他の国から来日している交換学生とも交流を持つことができました。私たちは『若者における自主的な奉仕活動』という課題について話し合いました。私は今回のようなキャンプは毎年行うべきではないかと思いました。(あまり形式的でなくてもいいと思います。)

今回私は日光、松島の観光や東京ディズニーランド、ブルー、富士山の登山、お茶会など色々な経験をさせていただきました。そして高橋さんのご主人のお兄様の5回忌にも出席させていただきました。

ホストファミリーの方々は、どこへ行くにも必ず私を連れて行ってくださいました。そして、日本の歴史の習慣を教えてくださいました。私は日本で素晴らしい日々を過ごすことができました。あまり長くいることが出来ず、とても残念に思います。日本で過ごした休日は生涯忘れることはないでしょう。

オーストラリアでのホームステイを終えて 派遣先オーストラリア 金子 亜矢 (松戸東LC)



1995年、夏、わたしの経験したオーストラリアでのホームステイは、生涯忘れないだろう、大変素晴らしい思い出でいっぱいです。出発前の期待をはるかに上まわる貴重な体験をたくさんすることができました。ホストファミリーは、とにかく優しく、親切で、毎日様々な場所へ連れて行ってくれました。ホームステイが始まって20日目の、8月15日まで、家で一日中じっとしていることは、一日もありませんでした。その中でも特に印象に残っている事柄をいくつか書きたいと思います。

まず第一に、私はオーストラリアでTV.Starになったのです。これは、ホストファミリーの友人が旅行業を手がけているおかげで実現したのですが、日曜日の夕方5:30から放送されるSydney Weekendsという番組に出られることになったのです。このプログラムは、Six Foot Track という名の、険しい森の中を登ったり、下ったりして3日間で、6フィート歩こう、というツアーのプロモーションでした。私たちは、オーストラリアでは有名なニュースカスターと共にリュックを背負い、帽子をかぶり3日間歩き続ける、Toristを装ったのです。実際に歩いたのは合計3時間程なのですが、あさのサンドイッチ作りの場面から夜のキャンプファイヤーまで、テレビカメラの下でのAction!"O.K"の声の中、一日中撮影が行われました。楽しくおしゃべりをしながら歩くふりをしたり、滝の下をくぐったり、アボロジニーの話の聞いたり、様々なことをしました。残念ながら、滞在中にその放送をテレビで見ることができませんでしたが、ホストファミリーがビデオに録画して送って下さる予定なので、楽しみにしているところです。

夏期YE生を向えて

房総朝夷ライオンズクラブ

ハンガリーよりYE学生ブルム カタリンさんに向けて例会訪問や各種LCイベントに参加し、日本の夏、房州の夏を味わってもらいました。その中でも8月6日に行われました第5回夏休み親子のふれあいイベント親子木工教室には130家族400人が参加し木工に熱中した。又地元中学校で英語の教師として採用された日系3世も参加し日本

の文化である木に触れさせ、会長L佐藤or大ぜいのメンバーが工作の手伝いをした。この様に町ぐるみでいろいろな奉仕をして来場者には大変喜んでもらいこのイベントが継続していく様にガンバッていきます。尚会場、教材、道具一式はL早川金光の経営する会社で無償でかりうけ、出来上がった工作物に賞品が渡されました。

また、ステイ先の Spring Wood Lions Clubのメンバーに、小学校の校長先生がいらした関係で、小学校へも行きました。そこで私は、3年生のクラスへ行き、折り紙の鶴をみんなに教えました。英語で教えることに戸惑いましたが、子供たちはみんな良い子で、熱心に説明を聞いてくれ、器用に鶴を折っていました。その後、千羽鶴の話を通して、平和について話し、千羽鶴が折られるようになった由来などを話しました。これは大変貴重な経験でした。

そしてもう一つ忘れられない思い出は、スキーへ行ったことです。忙しい合間をぬって、ホストブラザーが彼の友人と共に連れて行ってくれました。ここでは単に大自然の中、スキーができただけではなく、同年代の外国の若者と話し、一緒に楽しむ機会を与えられたという点においても、良い経験だったと思います。彼らは2年後に日本に来る予定だそうで、その日を今から楽しみにしています。

この他、4WDで森の中をドライブしたり、教会へ行ったり、Sydneyへ行ったり、他にもいろいろとオーストラリアならではの経験をしました。また、それに加え良かったことは、多くの素敵な人々に出会えたことです。

この一ヵ月のわたしのオーストラリアでの生活は、いつまでも私の中で輝き続け、いつまでも心に残ると確信できたことに心から感謝しています。ライオンズクラブを通して行ったからこそ、できたことだと思います。ありがとうございます。今は、ライオンズクラブの方々に、またホストファミリーに、ただ、ただ、感謝の気持ちでいっぱいです。Youth-Exchangeに参加することができ、本当に良かったと思います。これからも多くの人が、このような経験をするのができたら、どんなに素晴らしいだろうかと思っています。

新しい発見の毎日

派遣先オーストラリア 寺田 和代 (印西LC)

私は今回ライオンズのYE生として、7/28~8/28までの1ヵ月間、オーストラリアのコブスハーバーという所に行



ってきました。行く前はやっぱりとても不安でした。どんな所で、どんな人々が私をむかえてくれるのか、でも、私の不安はすぐなくなりました。むこうに着くと私を温かくむかえてくれました。

ホストファミリーはFather, Mather. アリソンの3人でした。本当は娘さんがあと2人いるのですが、1人はシドニーで働いていて、もう1人はYE生として日本の長崎に1年間留学しているとのことでした。

FatherはチキンブッチャーでMatherはテクニカルナースアリソンは中学2年生の女の子でした。両親は2人とも仕事をしていたので、2人とも仕事のある日は、ホストライオンズのメンバーの娘さんが務めているコブスハーバーにある私立のクリスチャン学校に行きました。私たちを連れて行ってくれたのはジュリーという若い女の人でした。ジュリーは何年前か前にYE生として日本を訪れたことがあり、日本にとっても興味をもっていました。ジュリーはYes7の生徒たちに日本語を教えていました。私たちはそのクラスで授業をすることになりました。生徒たちは日本語を上手に話そうと努力していました。わからないと聞いて、間違っていると正しく直そうとします。私たちがめずらしかつたよういろいろな事を聞かれました。オーストラリアの人々はとても心が温かく、全然知らない人でも声をかけたりにっこりほほえんだりしてくれました。初めはとまどったりびっくりしたり、答えることができなかつたけれど、2週間め

YE生"トリア"

松戸中央ライオンズクラブ
L. 山本 克也

アメリカミシガン州からトリアが我家へ来たのは7年前の夏でした。

自動車メーカーフォードのエンジニアを父に持つ普通の少女でした。私も女房も英語は全く駄目、彼女も日本語は話せませんでした。

結婚独立した息子達を急拠呼び寄せ、言葉の方は何とか見繕ったものの、ほとんどが、手ぶり見ぶりの毎日でした。いづれ又会う機会があるだろう、その時の為に英会話を習いもいたしましたが、その後、会う機会もなく英

会話もすっかり忘れてしまいました。日頃の文通の中で彼女はその後、ミシガン州立大学に入学、日本語学を専攻、その後の手紙は専ら日本語なので楽しみにしているところでした。

卒業間近の手紙によれば、就職が決まった由、何とミシガン州にあるニッサン自動車のディーラーとのこと。彼女の手紙にあるように、僅か40日の日本での生活が日本に感動し慣れ、日本ファンとして、彼女の人生を変えてしまったことは事実です。

になると、その生活にも慣れ、私の方から声をかけることもできるようになりました。Father, Mather.の仕事のない日はいろいろな所に連れていってもらいました。

コブスハーバーの周りは海だったのでいろいろなビーチに連れていってもらいました。Zooに行って、カンガルーやコアラをさわったり、ハイキングやバーベキューをしに行ったり、水族館にも行きました。オーストラリアで過ごした毎日には必ず新しい発見があり、いろいろなことを教えてもらいました。1日1日がとても充実していました。長いと思っていた1ヵ月もあっという間でした。ホストファミリーは本当にいい人達で、私たちに本当の家族のように接してくれました。私たちが帰る時には「ここはあなたたちの家なんだから、いつ戻ってきてもいいのよ」とMatherが言ってくれました。私はとてもうれしかったです。そしてまたここに帰ってきたいと思いました。私が過ごした1ヵ月は私の宝物です。オーストラリアに行ってよかったです。

今度行く時は、もっと自由に話ができたらいいと思いました。今回は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

この夏はすばらしい思い出

派遣先マレーシア

村野 智代 (柏グリーンLC)



私は今回夏期派遣生としてマレーシアに行ってきました。マレーシアは日本とは違い、複合民族国家であり中国系、マレー系、インド系の人々が一つの国に生活していました。同じ国でも様々な民族がいて様々な言語があるということが不思議でした。

最初のステイ先は、首都のクアラルンプールにも近いベタリングジャヤという所でした。ちょうどホストに同じくらいの年の女の子がいてほとんど毎日いっしょにショッピングに出かけました。クアラルンプール市内には伊勢丹やそごうなど日本のデパートもあり、その他にも電気や自動所メーカーなどの日本企業の看板もかなり目立っていました。また夜になればチャイナタウンやナイトマーケットにも連れていってくれました。

二度目のステイ先はクアラルンプールからバスに乗り北へ

7時間ほど行ったクアラクライという小さな町でした。そこは都市のクアラルンプールとはまるで対照的な所でしたが人々はとても親しみやすく私たちを歓迎してくれました。そこはフルーツが豊富でパイナップルやドラゴンフルーツ、マンゴスチンなど初めて口にするフルーツもたくさんありました。それからタイにも連れていってくれました。クアラクライが位置するクランタイ州はタイとの国境がある所で車で1時間半ほどで行くことができました。海に囲まれた島に住む私は前からずっと国境をこえてみたいと思っていたので、とても満足しています。またホストマザーがパイパーというマレークローズをプレゼントしてくれたりもしました。この夏はすばらしい思い出をたくさん作ることができました。私はこのYEに参加して本当に良かったと思っています。私にこのような経験をさせてくれたマレーシアのホストファミリー、友達そしてライオンズクラブの方々に感謝しています。ありがとうございました。

真夏から真冬へ「めちゃくちゃ寒い!!」

派遣先ニュージーランド

助川 忠弘 (柏グリーンLC)



私は7月24日から8月28日まで柏グリーンライオンズクラブよりニュージーランドへ派遣させていただいた助川忠弘です。

私がオークランド空港の外に出たとき一番最初に口に出たのが、「うわっ、めちゃくちゃ寒い!!」という言葉でした。そしてスーツケースからコートを取り出して着こんでしまいました。そう、南半球に位置するニュージーランドはちょうど真冬だったのです。しかし日差しはとても強く家の中にいるときは寒さもほとんど気になりませんでした。

私のニュージーランドでの第一印象は絵ハガキやガイドブックで見て、頭に描いていたものとおなじ見わたす限り牧場が広がる緑豊かな国ということでした。街から少し離れてしまえば360度どこを見ても地面に牧草が植えてあり、何十頭いや何百頭もの羊たちがその牧草を食べているのです。この風景を見たとき私は感動で思わず涙がでてきそうになりました。ニュージーランドの人口が約340万人、国土

は日本の九州を除いたものとはほぼ同じ大きさだそうです。そう考えるとあの広大な牧場や自然にも納得がいきます。

そして私のホストファミリーについてですが、私のファーストファミリーのフランクは72才の一人暮らしの男性でした。フランクはとても親切な人で私を本当の孫のようにかわいがってくれました。彼はいつも食事を自分で作ってくれて、その上その料理がとてもうまいので私も毎日の食事たがとても楽しみでした。あとみそ汁をフランクに食べさせたとき、彼はうまいと言って全部食べてくれたけど、その数日後にフランクの息子が遊びにきたときに同じようにみそ汁を出したらフランクはおもしろい味だからトライしてみろと息子にすすめていて、私も思わず「おまえ、この前食べたときうまいっていったろ」とつつこみが入ってしまいました。

セカンドホストファミリーのフィルは奥さんと2人の息子をもつ4人家族でした。フィルと妻のジャンは日本が好きらしく、家に博多人形があるのにはびっくりしました。長男のポールはしゃべるのが早くその上キウイスラングというニュージーランド独特の英語の言い回しを連発するので聞きとるのが困難でした。次男のマトは半年間日本に留学していたこともあり、日本語がわかるので、日常生活で家族と話す時はずいぶんと助けられました。

ニュージーランドで生活していく中で私は今まで自分がいかに英語の勉強をなまけていたかということを感じさせられてしまいました。しかし私はその事はほとんど後悔していません。今さら過去の事をくやんでもしょうがないのですから、大切なはその経験をどう生かしていくかということではないでしょうか。最後に私が無知であるのかを実感させてくれたニュージーランドの生活とライオンズクラブのYEプログラムに感謝したい。

.....

フレンドリーなヤンマサの人達

派遣先アメリカ

野澤 拓郎 (柏オークLC)

KANSAS州のWICHITA空港へ日本から飛行機に乗り継いでやっとたどりついたのは日本を出発して20時間ほどたった現地時間の午後8時だった。KANSASに着いてまず最初に驚いたことと言えば何と言っても見わたす限り平地が続いており、とにかく広いということだった。当然のごとく



海はなく、山もなく、大森林があるというわけでもなかった。ひたすら平地である。これぞ僕が小さな頃から夢見、あこがれてきた“アメリカ”であった。到着そうそう涙がこぼれそうになってしまった。実は今回が僕にとっては3回目のアメリカだったが、今までとはまた違う感動であった。到着後ホストファミリーと楽しい日々を過ごしたわけであるが、日が経つにつれてあることに気がつき始めた。「もしかしたら人に見られているかもしれない」始めは単なる思い過ごしかと思っていたがどうやらそうではないらしかった。それから少しKANSAS州AUGUSTA市の住人の人種に気を付けて町を歩くようにしてみた。すると、市に黒人アジア人はほとんど住んでいなかった。例えば700人からなる高校に黒人は2人、アジア人も2人、残りの696人はいわゆる“白人”と呼ばれる人々であった。そうなれば多少見られるのは仕方がないかとも思ったが、なかなか気分のいいものではなかった。協会へホストと行った時、スーパーで買い物をしてた時など、今まで訪れた他の州ではアジア人も多く今回のようなことはなかったのだ。このような経験は初めてだった。言い替えると今まではアメリカ(外国)にいるにもかかわらず、自分が外国人であると自覚する機会がなかったが、今回初めて自分は外国人であるのだと自覚をした。

始めはちらちら見られることが何となく嫌であったが日が経つにつれて変化がおとずれた。実際に僕を興味を持って見ている人と話すことになったのだ。例えば、地域の祭りなどで会う人、道行く人達スーパーのレジの人達など、時にはこちらから話しかけたり、向こう側から話しかけてきたり、話すようになってからはAUGUSTAの人々がやっぱり日本又は、外国人に興味を持っていることがわかり、見

YE学生を受入れて

房総勝浦ライオンズクラブ
L. 松村 雅夫

7月9日フィンランドから18歳の金髪娘が颯爽と我が家にやって来ました。おじさんは若さとブロンドにドキドキ、又連れて歩くと皆が振り返り大得意でした。しかしながら彼女を見ていると「日本に来ている」という気がしないのです、そもそも第1志望は中国で第2志望はどの国でも良かったそうです「日本」に来ているとい

うより外国に来ている感じでした。そこで色々な人々に会ってもらいました。出来る限り色々な場所へ連れていき見てもらいました。8月13日に帰っていきましたが現在「日本」が彼女の心の中に入ったかどうか不安です。「日本のパパ今日は」と言って再来日したとき始めて満足することになるでしょう。

られることもほとんど気にならなくなった。ある時スーパーのレジの人と話した時は、話の最後にその人がポケットから小さなペンダントをとりだし僕にくれた。予期せぬ出来事だったので驚いたがとてもうれしかった。

滞在が一貫して感じたことだが、訪れたKANSASでは人々がとてもフレンドリーで温かい。また地元の高校を何度か訪れる機会があったのだが、そこでも人々はとても親切だった。今回の派遣でKANSASの景色、生活習慣などに感動したのはもちろんだが、やはり一番感動したのはホストファミリーをはじめとするその土地の人々に対してであった。

いつか必ずホストファミリー、友達を訪ねKANSASへ行きたいと思う。

ハンガリーに1ヵ月間滞在して

派遣先ハンガリー

高松 真広 (船橋LC)



私は7月29日から8月29日までハンガリーへ行き、そして約1週間ごとに家庭が変わり、4つの家庭にステイさせて頂きました。

だから、その家庭に慣れてきて、家族のように過ごしてきたと思うと次の家庭へ行ってしまうので、別れるときは本当の両親、そして兄弟と別れる感じで悲しかったです。

ハンガリーの国は、昔からの協会、城がたくさんあり、建物のほとんどが芸術的な作りだったので、歩いてその建物を見るだけでもとても楽しめることができました。

私がステイした場所は、まず最初にハンガリーの首都ブダペストにわりと近い町でした。第2のステイの家庭はブダペストから約150 km離れた都市ベーチへ行き、第3、第4ホストの家庭はハンガリーの中でも一番大きな湖、バラトン湖に近い町へ行きました。

ほとんど毎日、いろいろな所へ連れていってもらい、ハンガリーの歴史を見ることができました。私が見て一番興味をもったのは、教会で教会の建物の作り、内部の絵画そして生まれて初めて、パイプオルガンの音を聞いた時は、とても感動しました。

すべての家庭に日本の文化を伝え、そして簡単な日本語を教えてきました。例えば“おはよう、おやすみ、ありがとう、かんばい”など。折り紙を教えました。ハンガリーの国でも日本のニュースが入ってきているらしくて、神戸の地震、地下鉄サリン事件について、いろいろと聞かれました。しかし英語でそれを伝えることはとても難しかったです。第3のホスト家庭では、ちょうどその家庭の妹のバースデーパーティーがあり、その時に、日本の料理“天ぷら”を作りました。ちょうど割り箸があったのでそれを教えました。みんなおいしいと言われた時はとてもうれしかったです。そして食事が終わった後、日本の歌を歌いました。そのパーティーはみんなに満足していただいてもらい楽しかったです。

私は社交性がかけていると思っていましたが、このホームステイのおかげでいろいろな人と出会いそして楽しく過ごしていったので、その点では少し自分のレベルが上がったような気がします。

この1ヵ月間、私の世話をしてくれたホストファミリーには、大変感謝しています。そして、このような経験をさせてくれた、ライオンズクラブの人、家族にも。

一生忘れないすばらしい思い出となるでしょう。また、いつの日か世話をしてくれたホストファミリーに会える事を願っています。

子供たちとも仲良くなって

派遣先ニュージーランド

大野 幸子
(船橋ポートLC)



7月15日～8月28日ニュージーランドでホームステイをさせて頂きました。

Aグループは47名で、そのリーダーの方と1軒目がWステイでした。私はWステイという事を知らなかったのととても驚きました。こういう事は事前に教えて頂きたかったと思いました。1、2軒目は両方とも未亡人の方でしたが、

カナダにステイして

派遣先カナダ

松崎 のぞみ (船橋東LC)



1軒目の方はとても親切にして下さり2泊3日の旅行に連れて行って下さったり、動物病院に連れて行って下さったりと、毎日、毎日出かけていました。2軒目はお母さんが社長をしていたので家に1人であるか会社に行って学校の宿題をするか、同じ地区にステイしていたYE生のステイ先で過ごす、、、というかんじでした。でも他のYE生の子のホストのお母さんが小学校の先生をしていた為、その人のクラスで1日過ごさせて頂いたり、孫の小学校と幼稚園にも行き、とても勉強になりました。3軒目は初めて子供がいる家でとてもうれしかったです。子供がいるというだけで家のふいんきがとても明るくとても楽しかったです。Farmステイではなかったのですが牛を飼っていて、バイクでえさをやったり、、、とFarmの経験も少しできました。ホワイトピーティングやホースライティングなど貴重な経験もできました。子供ともすごく仲良くなり、13才の友達といっしょに遊んだり、10才の子と散歩に行ったり、夜は毎日子供といっしょにカードゲームなどをして楽しく過ごしました。

別れる時はいつも涙の別れでした。抱き合って、なかなか別れられず、最後は必ずNZに帰っておいでと言われました。私も本当にそうしたいと思います。NZ人は皆さんとても親切で、ライオンズの方もとても親切にして下さりました。メンバーの方が色々な所へ連れて行って下さりました。

NZへはYE生90人近くで行きましたが、みんな同じ国にステイし、同じ様な経験をした仲ですので、話もあい、とても仲良くなりました。関西空港で泣いて別れをしている子もいたくらいです。日本各地に友達ができるなんてめったにないチャンスだと思います。もちろんNZにお母さんやお父さんができたこともそうですが、、、これもライオンズクラブの方のおかげだと感謝致しております。本当にありがとうございました。

NZでは、リーダーの話によると色々なトラブルがあったあちらのライオンズクラブの方に迷惑をかけたりもした様です。でも、最後はみんな元気に帰国でき、本当に良かったと思います。

ステイ先の方とはこれからも連絡を取り合って親しくしていこうと思っています。お金をためて、必ず帰ろうとも思っています。

このような貴重な経験ができたのも、ライオンズクラブの方のおかげだと思い深く感謝致しています。

本当にありがとうございました。

今こうしてレポートを書く時になると、ああホームステイは終わったんだなあという実感がわいて、むしろ寂しさを感じます。カナダでのホームステイは本当に私にとって意義のあるものでした。自分をみつめ直し、日本という国を客観的に外側からみれたということが最大の成果だと思います。

7月24日、4:30にエドモントン インターナショナルエアポートに到着した私達はホストファミリーの迎えを受けました。皆、家族全員で迎えに来て下さっており、とても感激しました。道路から広くて、家、スーパーマーケットなどなにもかも規模がちがいました。道路のまわりは草原がずーっと広がっていて、ところどころに牛が放牧されていたり、馬がいたりして、千葉では絶対にありえない光景を目のあたりにしました。そしてなんととっても空に感動しました。自分にせまってくるかのように雲が真上にあり、いかにアルバンタの空気が澄んでいるかを感じました。日が11:00ごろまで沈まない為、星をあまりみることはできませんでしたがキャンプに行った際に、星が降ってきそうな程近くでみることができ、感動した覚えがあります。自然の美しさ、とりわけカナディアンロッキーの壮大な眺めは本当に言葉でいい表わすことができないくらいすばらしいものでした。人間のちっぽけさとか自然には抵抗できないということを認識せずにはいられませんでした。こういうカナダの環境に感銘をうけました。しかし今回私が最も感動したのはカナダ人の寛大さです。また家族のつながりが深いということです。先程空港に家族全員で出迎えてくれたこと書きましたが、家族の仲の良さは私がステイした2家族とも本当にすごいものです。ディナーは全員かならずそろって食べ、夜は全員での時を非常に大切にしていました。その家それぞれの趣味などを大切にしていました。私はこのことに一番ショックを受けました。日本の家族は皆、個人の生活でバラバラで、家はただ帰るとい

パターンが多いような気がします。少なくとも我家はそうでしたので、家族のつながりの強さに本当に驚きました。そして見習うべきだと思いました。カナダにステイした全国の日本人YE生がそう言っていましたので、やはりカナダの家族のつながりはすごいです。そして、少なくとも私が会ったカナダの人々は皆、日本にとっても興味をもって、親切に接してくれました。買い物していると店員さんが私が日本人だと知ると日本に友達がいるだとかいろいろ話してくれたりして、とても楽しいひとときをすごしました。アメリカに住んでいたころ、日本バッシングがけっこうひどく、日本人を嫌っている人がいたので本当にカナダ人の日本人への親切さに感動しました。

5週間のカナダでのホームステイは本当にさまざまな体験をすることができ、いろいろ学ぶところがおおかったです。カナダをこよなく愛するカナダ人は本当にすてきな人々です。カナダに14年住んでいた私の友達がカナダに帰りたいたしきりに言う意味がわかった気がします。

最後になりましたが、このホームステイがすんなり、何事もなく終わったのもライオンズクラブの方々のおかげです。手続きから何から本当にお世話になりました。本当にありがとうございました。

りました。そこは、地平線の向こうまで「その人一人の土地」といった様な広大な家を、何軒か見て回りました。

それから一週間後、世界中からアメリカへ来ているYE生が参加するキャンプへ参加しました。最初の二日は、なかなか皆とコミュニケーションがとれず、あまり面白くありませんでした。しかし三日目から皆と話す様になり、夢のような四日間が続きました。こうなると時間がたつのが早くて、あっという間に終わってしまいました。最後の日には、皆とすっかり友達になっていました。

帰ってからは、ゴルフをしたり、ピクニックへ行ったりして、あっという間に時間が過ぎてしまいました。ライオンズクラブのミーティングにも一日参加して来ました。とても素晴らしいミーティングだと思いました。

サウスダコタは、とても素晴らしい所で、住んでもいいと思いました。だから帰るときは、とてもつらかったです。

このような貴重な体験をさせて下さった、ライオンズクラブの方々、本当にどうもありがとうございました。

アメリカ、サウスダコタ

派遣先アメリカ

松岡 雅啓 (白井LC)



僕はこの夏、アメリカのサウスダコタ州のシオックスフォールズへ行かせて頂きました。ここは日本の北海道と似ていると思いました。空港の回りは、街並みが続いているけどちょっと離れると、地平線が見える様な畑が続いていました。

ホストマザーは、月曜から金曜まで仕事へ行っているのですが、僕はいつも子供達と遊んでいました。長男は僕と同じ位の年齢なので、いつもどこかへ連れて行ってくれました。三日目位に牧場へライオンズクラブの人に連れて行っても



お知らせ

第79回世界大会

日時：1996年7月9日～12日

場所：カナダ・ケベック州モントリオール

ルワンダって何処？

3R1Z
柏ライオンズクラブ
L. 市村 衛

ライオン
広 場



昨年、アフリカのルワンダのルワンダ共和国で内乱発生、数百万人ともいわれる難民が隣国ザイールに避難、国連軍が軍事介入し、我が日本もPKO活動をどうするかマスコミ紙面を揺るがしているが、さてルワンダとはどんな国なんでしょう。

1974年今から20年前、当時アフリカのケニア共和国で学生生活を送っていた頃、日本の羽仁進プロダクションが野性動物の撮影に首都のナイロビにやってきた。長期日程の為、日本人ガイドを探しているとの事で、学校の暇な時を利用してガイドのアルバイトをお受け致しました。

羽仁進さんは当時日本のTBSと「動物家族」という番組と年間契約を結び、毎週夜の7時から放映致しておりました。私も契約の条件として毎回、両親の為に画面に出して欲しいと要求いたしましたところ、音声担当として、出演出来る事になりました。後で聞いた話ですと、毎会数秒ぐらいで、目を皿のようにして見ていないと分からなかったのが実情だったようです。

さて、いろいろな動物を撮影してきた中で、どうしても羽仁さんは野性のマウンテンゴリラを日本人としてはじめて撮影したいとのことで、今問題のルワンダへ出発したわけです。私もアフリカへ行って初めて聞いた国名で、英語の辞書を調べた所、たったの三行、アフリカの中央部に位置し最も小さい、最も貧乏な国とだけ書かれていたのが印象的でした。

ケニアの首都ナイロビをトヨタ、ランドクルーザーで飛ばし4日間、ケニア、ウガンダ、そしてルワンダ共和国の首都キガリに到着。たった一軒のホテル名前がフランス資本の「ホテル デス ミレ コリネット」(フランス語でたくさんの山々の意味)というこの国に似つかわしくない素晴らしいホテルに宿泊した。

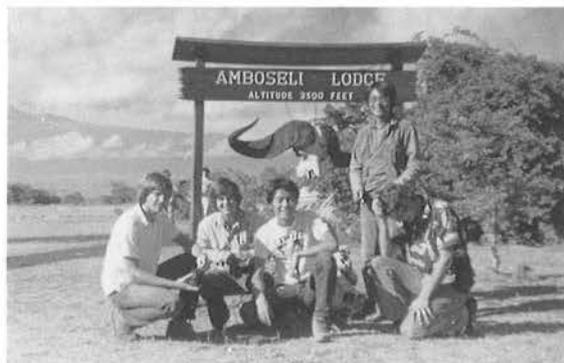
当時のルワンダにはトヨタの小規模ながら組み立て工場がすでに開業しており、また日本銀行から服部さんという方がルワンダ銀行立て直しの為、ルワンダ国立銀行総裁という立場で働いておりました。私がアフリカに滞在していた中で、有名なウガンダ共和国の革命、ケニアの内乱、エチオピアの革命と3度の経験を経て、当時のルワンダ共和国はのんびりとした、平和な国としか見えませんでした。文明の発達と共に人間の欲望が今回の内乱を引き起こしたものと思われます。アフリカの内乱の原因のほとんどが部族対立で、この問題は21世紀の最大の国際問題になると思われれます。

ルワンダ共和国は日本の四国の1.5倍、人口は約800万人といわれ、もとのフランス領で、人々は現地語の他、フランス語を話します。特に産業はなく、自給自足の農業を基本に生計を立て観光産業は当時まだ発達していませんでした。

ゴリラは首都キガリから西方700キロのルヘンゲリという町の山間部に生息し、ルワンダ国境とザイール国境のジャングルを移動し、野性のセロリや竹の子等を主食に家族

集団で生息しております。正式にはシルバーバックマウンテンゴリラという名前で、日本の動物園でも最も人気のある動物の一種です。ジャングルにテントを張りゴリラ探しがスタートしました。野性のジャングルは物音一つ無い静寂を保ち、我々の足音だけが耳にはいる。太陽を頼りにジャングルを歩くが、最初の1週間は何の収穫も無く、山中で突然襲われる豪雨。木の皮を削り、子枝を集め火を起し、暖を取る。もしも遭難したら、と脳裏をかすめる。その時、かなり遠くからゴリラの胸を叩く音がジャングルにこだました。音を頼りに進んで行くと、100メートルぐらい前方にキングコングが2匹こちらを威圧する。我々はいつでも逃げられるように断崖に峰に沿って歩いた。その時、2匹のゴリラは我々を襲ってきた。目を丸くし、牙を剥き、胸を叩きながら突進してくる姿はまさにキングコングそのものだ。逃げろ！の合図と共に我々は断崖を飛び下り、カメラや資材を捨て、散り散りにバラバラに逃げた。ガイド、カメラマン、アシスタントそして私も一目散に逃げた。そして4時間後、全員バラバラでキャンプにやっとの思いで到着。私はもう二度とあのジャングルには上がりたくないと訴えた。翌日は一日体を休め、今後の方針を話し合った。その結果、置いてきたカメラや資材は取りに行かなければならないとの結論が出た。やむを得ず私も同行するはめになった。野性のゴリラの生態も実態も何も知らずに案内したことを悔いながらジャングルを又歩く。やっとの思いで一昨日の置き去りにしたカメラの場所まで辿り着いた。その時又、速くでゴリラの胸を叩く音が聞こえてきた。何とかフィルムに収めたいカメラマンが又崖を飛び下りれば安全だからもう少し先まで行こうと言いだし仕方なく最後に位置し前進。すると山の谷間に十数匹のゴリラの家族がこちらを気付かずに食べ物を頬張っていた。先ほどの胸を叩く音は子供ゴリラが遊んでいるときの音だったのです。約1時間の撮影に成功し、ジャングルを下山した。首都キガリのホテルに戻り、プールに入り、おいしい食事を口にしたとき、絶対ゴリラの撮影のガイドは引き受けないと心に誓いルワンダを去った。崖から飛び降りたときのけがは痛みを増し、ケニアに到着し病院の世話になる事になり全治1ヵ月とのことでした。

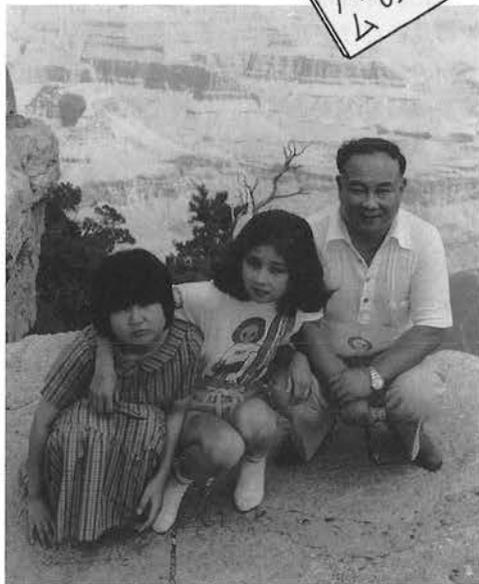
あのゆっくりとしたアフリカの時間の流れの中で起きた今回の内乱によってあの野性のゴリラたちはどうしているのか気掛かりです。



写真は学生達とキリマンジャロ山近くのケニア、アンボセリ国立公園於のナップ。

グランドキャニオン

7R1Z
東庄ライオンズクラブ
L. 林 寛躬



軍歌戦友に「赤い夕陽の満州」と言う歌詞があるが、アメリカ大陸の夕陽を
実際体験して多分この様な光景であろうと想像出来たがその雄大にして色の濃
い事日本では見られない大陸独特のものであると思った。1981年今から14年
も前になるが長女が結婚し夫の勤務の関係で式の翌日渡米すると云う忙しい日
程で別れを惜しむ暇もなかったので翌年の夏休みを利用して二女（当時高2）
を連れてロスへ行き約1週間観光した事がある。この写真はその時「グランド
キャニオン」で撮ったものであるがロスからラスベガス迄勿論飛行機もあるが
大陸を実感する為という事で高速バスのチケットを用意してくれたので約7時
間（東京・大阪間位）の旅をしたが途中給油の為停車した所も約10戸程の家が
あるだけで途中は荒涼たる西部劇のロケが出来そうな砂漠である。家込みの日
本を見ている目には想像を絶する風景であった。「グランドキャニオン」の空港
へはラスベガスから観光用のセスナ機（約10人乗）でとちゅうキャニオンの間
を見物させ乍ら飛ぶのであるがサービス精神旺盛で右に左に傾くので気持ちが
悪くなり観光どころではなかった。空港には日本人の観光客が目についたが懐
かしい尻上がりりの茨城弁を耳にした時は思わず外国に居るのを忘れる様な思い
であった。後にして思えば二女はこの旅行がきっかけで大学も英文科へ進み英
語教師になった思い出の旅行であった。



テール

ツイスター時代の 思い出



7R1Z
銚子ライオンズクラブ
L. 安藤 英夫

メンバーを紅白に分けて花嫁衣装の着せ換えコンクール、モデルもメンバー、負けた方はドカッとファイン、勿論モデルの顔も重要な採点の基準になりました。



何の役にも立たない話

4R2Z
船橋北ライオンズクラブ
L. 杉野 秀夫

エジプトを旅し偉大なピラミッドを見てこんな話しを想
い出した。時の王様が奴れい三人に云った。お前達の背
中に黒丸か白丸かどちらかの丸を描くので①何色を描か
れたか理屈話で解った奴。②白丸を二つ以上見た奴。は
逃がしてやるから申出よ！と云って三人の背中に黒丸各
1個を描いた。(計3個) その内の知恵者が見事奴れい
解放となり王様の側近になったと云う話。



—— 正解者はガバナーの側近に推薦致します。 ——

エレキギター

6 R 1 Z
成田グリーンライオンズクラブ
L. 小泉 吉則

わが家の 家宝

中学1年生の頃、ラジオから流れて来たデケデケデケで始まるザ・ベンチャーズのパイプラインという曲に驚きと感動と新鮮さを感じ、以来私のエレキギターとの付き合いが始まった。まさに直木賞小説「青春デケデケデケ」

そのままの少年時代でした。その後エレキ・ブームが日本中に巻き起こった頃、私はエレキを持って歩いていると小学校の1階から3階まで全校生徒が窓から身を乗り出して「カッコいい〜」とか言われすごく恥ずかしかったけれども得意の絶頂だったのを覚えています。



そんな時代1965年10月19日の朝日新聞社会面のトップを飾った記事にエレキ追放運動が載ったのだから、いかに当時のエレキ・ブームが大きかったか、私の親もご多分にもれず「エレキは不良だ」と思い又、高校受験を控えエレキを弾きまくっている息子を心配したのか、中学3年の夏とうとう私のエレキを取りあげてしまいました。以来私は筆箱に輪ゴムを張って弾いたり、ノートにはエレキの落書き、寝てはエレキの夢、それでも高校に合格し、そんな情熱を知ってか知らずか、当時マニア垂涎的であった高いエレキを父親が買ってくれたのです。それからバンドを組んで高校3年の文化祭にて演奏、「青春デケデケデケ」の下りそのままの青春時代はエレキと共という感じでよき思い出でした。

以後はエレキ・ブームの衰退と共に疎遠になり10年位手にも触れない時期などもありましたが、5、6年前に今だにベンチャーズに凝っている人と知り合い再び意気投合しバンドを結成、ライオンズの家族パーティーや近所の公園等でライブ活動を行い、人前で演る緊張感に快感を覚え40代の私が再びエレキに狂い始めたのです。

還暦を迎えた本物のベンチャーズも結成35周年、今でも毎年日本に来て公演を行っております。私も50代60代になっても老人ボケ防止にもいいと思うし、ずっと続けられたらいいなと思っています。そんな青春時代の思い出が詰まったエレキ達、もちろん我家の家宝。

鏡が浦の夕照

9 R 1 Z
東庄ライオンズクラブ
L. 青木 芳政

わたしの
好きな
風景

館山湾の夕景は、特に美しい。赤紫から橙色、そして黄金色に。遠近や高低の距離によってプリズムの様に変わって行く。別名「鏡が浦」と言われる程、夕暮れの水面は滑らかで、静かな夕なぎの渚となる。この鏡のような水面に七色に彩る美しい空をそのまま移し、空と水面が一枚の屏風となって照映する様は、正に百万ドルの夕景である。また富士山のシルエット、停泊する貨物船、帰港する船。静と動の狭間は青春のドラマチックなシーンを見ている思いである。この光景は過ぎ去った青春の扉を再び開いてくれる希望の瞬間を絵に止めたものである。



この絵は、当クラブから私が依頼されて描いた絵を、長いあいだ例会場として、事務所としてお世話になったお礼として、「たてやま夕日海岸ホテル」の新築を記念して、油絵50号を寄贈。今はこのホテルのロビーの壁に飾ってある。

「我が家の家宝」と子育て



家宝は、よく床間、応接間、その他さまざまな場所に見られ、また、人の趣味や好みによって、その内容も異なってくるものである。床間に飾られている高価な品も、ただ飾ってあるだけでは何の意味もないと思う。

心をこめて磨いたり、角度や置く場所を変えてみたりすることによって、必ず光輝き、その品の価値が一層深まってくるものであり、ちょっとした配慮が大切であるように思う。即ち、その人の心が通じているかどうかである。

子育ても似かよっていると考えられる。

最近、夫婦中心の小家族へと移行してきているが、年寄りや子供に対する思いやりや、心の通い合う親子関係が薄れてきている。小家族は、親子の関係が密接になるが、ともすれば外部に対して閉鎖的となり、他との人間関係にひずみが生ずることが少なくない。このような家族では、兄弟姉妹との生活関係が稀薄となり、特に母親の子どもに対する関心が集中しすぎて過保護、過干渉の傾向を生みやすくしている。また、親の過度の期待から、子どもの中には、その重荷に耐えきれないものも現われてきている。家庭教育は、親が子どもに対して、基本的な生活習慣、ものの感じ方、考え方、価値観など、人格の基本となるものを身につけさせるために、家庭で行う教育である。従って、子育ては、家族全員で行い、父親の役割、母親の役割を認識することが大切であり、父母の愛情によって子どもは思いやりと人間性（やる気）子供らしい情操の芽などが育てられるのである。

10R2Z

成東ライオンズクラブ

L. 畔蒜 治

私の家は、私達夫婦、俵夫婦と孫2人の6人家族である。この孫2人がわが家の家宝なのである。

孫たちがいることによって、笑ったり、会話をしたり、歌ったり、家庭の中がいつも明るさがたえない日々である。幼稚園に行っている男の子は「虫とりに行こうよ。」「ザルガとりに行こうよ。」とせがまれる。「アッ逃げられた」「網をもってきて!」「2匹押さえたよ」家へ持ち帰り、籠やバケツに入れ、餌を与えては喜び、観察をよくする。夕食時によく話をしてくれることが楽しみである。下の女の子は、1才2ヵ月、ジィチャン、ジィチャンと私の姿を見ると寄ってくる。そっと抱き寄せると、顔をすり寄せて笑顔を見せる。愛情をそそげばそそぐ程、子どもは答えてくれる。こんな姿がとてもたまらなく可愛いものである。まさに、わが家の宝物である。こうして、スキンシップをしながら、思いやりの心を育てていきたいと考えている。

「やってみて、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かず」これは、山本五十六元師のことばであるが、まさしく、子育てもこの言葉の通りである。それは、先ず家庭の中に「話し声、笑い声、歌声」がなければならない。これを「家庭の三声」というが、このような明るい家庭においての子どもは、すこやかに成長していくものと信じている

家宝である子どもを良くするも悪くするも家族の愛情しだいである。

母の献眼と思い出

9R2Z

光ライオンズクラブ

L. 椎名 英夫

献眼登録は光LCのCNのACTで、我が家では全員登録を済ませていた。母は、「さんずの川を渡る時が来たら、献眼していいよ。死んだら見えないんだから。」

その母が、3年前の日曜日の早朝高熱を発して旭市の病院に救急車で入院、応急処置をして地元の病院に移ったのも虚しく、その日のうちに遠くに旅立って行った。直ちに、地元の病院から千葉大学に献眼の依頼をしたのは、言うまでもありません。

母の目が二人の目として生きており、素晴らしい活動であったと思っています。父も82歳、冥土の土産に献眼と母に続いての希望ですし、私も女房も献眼提供一家になるなと思っています。

献眼登録は、献眼の提供をして真のアクティビティという、10年前の光LCのCNでの来賓の挨拶が今もって忘れられません。



8 R 2 Z
君津ライオネスクラブ
L. 松本 衣子わたしの
特技

歌う喜び



小学生の頃から歌うことが大好きであった私は、遊び仲間と、のど自慢大会などして美空ひばりの流行歌を歌ったり又、音楽の先生に選ばれて合唱部で校内放送で歌う事など次第に子供ながらに音楽のとりこになってきたのだと昔を思い出して感じています。たまには国立音大付属中学に通学している二才年上の近所のお姉さんに勧められ、入学をしたのが私が一生音楽を一生の仕事にするきっかけとなりました。勿論両親の理解が大きかったからと今も感謝をしています。これからの女性は自立して行けるようにとの親の方針があったからです。中、高、大学とお陰様で恵まれた環境の中で楽しく音楽を学ぶことが出来ま

した。音楽を専攻しておりましたので卒業後はプロの東京混声合唱に在団し、多くのステージやマスコミの仕事、レコーディング、演奏旅行などの経験は今でも私の大きな宝物です。結婚後は君津市に在住、子育てをしながらも細々と近所の子供にピアノや歌を教えながらも音楽とはずっとお付き合いをして参りました。4人の子供も次第に成長して来た時期に再度自分が教えるだけでなく自分で磨かなくてはだめになると思いレッスンに通い初め今又さらに、勉強できる喜びを味わっております。学ぶ上には苦しい事も沢山あります。少しずつ積み重ねて理解が出来た時は最高の喜びです。自分も学びつつ教え子が音大に入学し成長して行ってくれるのも私の喜びの一つです。人に教えることで初めて学びとる事は沢山あるのです。地域の音楽文化は徐々に向上しつつあります。君津市に素晴らしい文化ホールが出来ましたがお陰で音楽サークルが沢山出来、多くの市民が歌う喜びを分かち合える様になりました。私も指導者の一員として、自分の学んだこと、経験したことを生かして楽しく活動しております。これからも音楽を通じて多くの方々と出会い喜び分かち合い、自分も良い歌を歌っていきたいと思います。自分の特技を生かせる場所で奉仕の心で頑張っていきたいと思います。近い将来にチャリティーのリサイクルを考えております。その節はどうぞご協力宜しくお願い致します。

(趣味)の履歴書

8 R 2 Z
上総ライオンズクラブ
L. 太田 隆

特技をもたない者がその特技を披露することは些か無責任すぎるので私の場合、趣味ということで了解をいただきたい。

昭和20年8月、霹靂の敗戦で虚脱状態であった私は俳句に興味をおぼえた。その年の冬、岐阜県大野の高橋愛尚が主宰する「しらさぎ」に入会、俳句に熱中した。

昭和21年3月、渡部水巴の主宰していた「曲水」から独立した木更津の高橋采和は俳句結社「海雲」を主宰、創刊した。知人に紹介された私は6月に「海雲」に入会。

当時私の近くにアトリエを持っていた彫刻の日展作家、安西順一がすでに会員になっていて中核作家であった。乞うて指導を受けた。また久留里には白紙長南、井村狐逸、井村南笑、斉藤芋拔、平野粒子、高沢武比古、真田翠雨などが「曲水」で活動していた。胸をかりて勉強するには充分であった。昭和22年の冬同好者と支部を結成、俳優の花沢徳衛の兄、長坂一水も加わり毎晩のように句会を開催、

「沼の芦湯霧にふれてみづみづし」で新人賞を獲得、24年11月号で「震災忌月代に子の近づきし」で巻頭句、同人に推挙された。「曲水」にも入会、昭和26年の秋、曲水、海雲合同句会で「山の町人影過ぎて秋光りぬ」で7人の選者の特選句を受賞、その後、いずれの句会でも上位入賞するようになった。昭和40年頃は倦怠期があったが、角川書店発行の総合俳句詩「俳句」は購読、折にふれて投句を続けてきた。平成6年11月号に「花野中牛の受胎を告げらるる」で巻頭に選ばれた。現在は旭川の深谷雄大主宰の「雪華」の同人、最近の句「言い分けをしてきて威統にあふ」「豆乾く幽かな音の豆莢」で雄大特選になっている。このように俳歴のほかNHKの農林水産通信員として永年通信文を送り続けた中から抜粋して「君津のむらと人」を刊行した。



— 妄言多謝 —



流れ

いびあれ
ひがまれ
そむて...

4 R 3 Z
八千代ライオンズクラブ
L. 秋葉 琢磨

1988~1989、昭和から平成へ時は流れ、`人生は岳を登るが如く、そして川が流れるように移り変わった` 私が会長時代だった。毎回のよ
うに、いびられ、ひがまれ、いじめられた、全て
をCabinetに相談、Melvin Jones Follow は八千代
Lions Clubでは初めてだった。

時の会長はAustin P.Jenningsだった。333-Cは
小泉ガバナーであり、その後年1回同士の会合
が続いた。`佐原の祭り` は本当に楽しかった。
幾多のLions Clubも訪れ、世界大会のMiawi→
Key WestとUSA最高端へ飛んだ、船橋北Lions
Clubはいつも私を温かく迎えてくれた。益子へ
の`陶芸の集い` のさそいも何度となく受けてい
るが未だ私の都合で実際同行できないでいる。

今は趣味は`Golf + α` で陶芸、すみ絵、俳句
と忙しい、年1回グループ販売し県医師会では
ボランティア販売もした、九州有田の陶器は江
戸時代伊万里港から伊万里焼として、オランダ
からヨーロッパ各地へと運ばれた。従って今で
も東洋の陶器、景德鎮窯、日本の陶器はヨーロ
ッパ、USAでは価値あるものである。同志よ世

界の友達には、陶器と日本酒を旅の贈り物とす
るがよい、`土と突` 偉かな土は1700度、数時
間すれば人によっては高価な`ぐい呑み` とな
る、会長時代も去り、時は過ぎて行く、趣味、そ
して医学は命ある限り続けなければならない、
私達には生涯教育、指導医、認定医と特にきび
しき学術研修会が義務づけられ、時に講演、時
に座長と即座に命じられ、対応する年齢となった、
定年も過ぎ、退職された友も多く、私を支持して
くれたLions Menも次々と他界している、新しい
時代と変遷している、残りの人生、平和な平成
の人生を送りたい、そして益子で陶芸の`土と突`
を学んでみたい、そんな昨今である。

慶応義塾大学病院時代、芳賀赤十字病院に出
張勤務し、益子焼、その他の栃木の焼物を見聞
した、青春を謳歌した時代だった、今では陶芸
友人達もたくさん居り、'96秋には益子周辺で
のGolf、陶芸鑑賞も企画されている。還暦過ぎ
てますます人生、楽しくなりそうである。私の
最近の作品を紹介し結びとしたい。

Love We Serve



29×37 cm
ミクロの世界
県展 '95



18×18 cm
染付草文壺
秋葉 則子
'96.1 県送展



34×8 cm
上高地
'95.1 県送展

「ライオンズクラブ讃歌」元地区ガバナー L.矢田 常吉 著

推薦の言葉
ライオンズクラブ国際協会 元国際理事 相沢 春吉
(新潟県・新潟セントラルクラブ)

1919年、大分県の山村に生まれた少年が大分高等商業学校(現大分大学)を卒業後、三菱重工業(株)で航空機生産に従事、戦後は千葉県で中小企業に身を投じ、ついに社員600名を擁する企業に育て上げた男、それがライオン矢田常吉である。ライオン矢田がライオンズクラブに入会したのは、今から30年前、1965年のことであった。誠実一路、人間愛と誠実を信条とする彼は、ライオニズムに深い共感を覚え、ライオンズの目的を人生観の大きな支えとしてライオンズ活動に励み、やがて333-C地区ガバナー(1992~93年)に就任、あわせて333複合地区協議会議長として活躍するに至った。ライオンズクラブの会員であることに限りない誇りと喜びを持ち、ライオニズムに惚れこんだ男がペンの走るままに書いたのが、この「ライオンズクラブ讃歌」である。

巻末に記載された「私の小さな履歴書」は大正、昭和、平成と激動の時代を生きた日本人にとっては、共通の体験を持つ者として自分の過ぎし日を思い出すことも多い。更に「やさしい漢詩のつくり方」に至っては、著者のすばらしい趣味と知識に、あらためて敬意を表するばかりと申さねばならない。

ライオンズクラブの役職にあるメンバーは勿論、会員必読の書として多くの方々に読んで戴ければ幸いである。



内局だより

行事報告

- 11/1 (水) 年次大会打合せ会議
船橋市、東魁桜
- 11/10 (金) 複合地区ライオネス委員会
小山市
- 11/11 (土) 松戸グリーンLCチャーターナイト
松戸森のホール
- 11/12 (日) 船橋グリーンLCチャーターナイト
ホテルサンガーデン
- 11/12 (日) 千葉若潮LC 20周年
ホテルバシフィック千葉
- 11/18 (土) 第2回キャビネット会議運営予備会議
千葉県労働者福祉センター
- 11/18 (土) 第2回キャビネット会議
千葉県労働者福祉センター
- 11/18 (土) 地区アクティビティ資金運営委員会
千葉県労働者福祉センター
- 11/23 (木) 鴨川LC 30周年
鴨川グランドホテル
- 11/23 (木) YE冬期受入家庭オリエンテーション
千葉県労働者福祉センター
- 11/26 (日) 第2回YE冬期派遣生オリエンテーション
千葉県労働者福祉センター
- 11/28 (火) 333複合地区第2回ガバナー協議会
上野精養軒
- 12/3 (日) 夏期YE派遣生選考会
千葉県労働者福祉センター
- 12/4 (月) ワンダー国際会長公式訪問
東京
- 12/5 (火) 地区PRセミナー
船橋グランドホテル
- 12/7~10 (木~日) 第34回東洋・東南アジアフォーラム
香港
- 12/15 (金) 冬期来日生研修会及び歓迎会
成田市文化会館・ホテルレッツ

12/17 (日) 市原東LC 結成会

市原市

12/17 (日) レオクラブ合同例会

千葉県労働者福祉センター

行事予定

- 1/19 (金) 会計監査
キャビネット事務局
- 1/21 (日) 佐倉中央LC結成 (SP佐倉LC)
勝田台グランドホテル
- 1/21 (日) 第1回YE夏期派遣生オリエンテーション
千葉県労働者福祉センター
- 1/22 (月) 第1回333-C地区ゴルフライオンズカップ
真名カントリークラブ
- 1/25 (木) 献血推進研究会
ホテルスプリングス幕張
- 1/27~28 (土~日) 333複合地区レオ冬期研修会
塩原ハンターマウンテン
- 1/28 (日) 冬期受入家庭及び派遣生帰国報告会
千葉県労働者福祉センター
- 2/4 (日) 千葉県高等学校弁論大会
千葉県労働者福祉センター
- 2/11 (日) 第3回キャビネット会議運営予備会議
千葉県労働者福祉センター
- 2/11 (日) 第3回キャビネット会議
千葉県労働者福祉センター
- 2/17 (土) 船橋さざんかLCチャーターナイト
ホテルサンガーデンららぽーと
- 2/20 (火) 第1回内局引継会
船橋市、東魁桜
- 2/25 (日) 第2回YE夏期派遣生オリエンテーション
千葉県労働者福祉センター
- 3/10 (日) 旭LC 30周年
ブライダル武蔵野
- 3/16 (土) 富津LC 30周年
富津公民館

内局会議・年次大会準備打合せ、毎週火曜日午後6時30分

YE

YE

YE

YE

YE

YE

YE

物故ライオン 慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

柏 LC 故L飯塚末雄 (10/6逝去)
 白子 LC 故L池尻博行 (10/7逝去)
 八千代 LC 故L中村清成 (10/25逝去)
 八千代 LC 故L小久保敏 (10/27逝去)
 房州白浜 LC 故L小谷八十吉 (10/28逝去)

海上 LC 故L浪川勝男 (10/31逝去)
 旭 LC 故L加瀬俊雄 (11/9逝去)
 下総中山 LC 故L上条治平 (11/26逝去)
 船橋東 LC 故L佐々木光男 (12/10逝去)

333-C地区

1995年11月末会員数

ライオンズクラブ 108クラブ 4,601名
 レオクラブ 6クラブ 128名
 ライオネスクラブ 13クラブ 270名

阪神大震災の震災遺児に愛の手を!



昨年1月に起きた大震災で父親、母親、両親を亡くした震災遺児の第2集支援要請作文集、「黒い虹」が阪神大震災遺児と共に生きる会の編集発行、ライオンズクラブ国際協会330~337ガバナー協議会の協力によって発行されました。震災遺児の絵は表情が読み取れないほど暗いとされ、タイトルの「黒い虹」は震災で一家8人が家屋の下敷きになり父親と末妹を亡くした秋元かつひこ君(小学5年生)の描いた絵からつけられた題名です。遺児は時の経過と共に復興する街並みとはうらはらに被災範囲が広いため弱者である彼らの救済が忘れられこれまでの交通、災害、病気遺児と比較して、経済的にも精神的にも最も厳しい状況におかれているといわれます。

震災遺児となった子供たちの進学への夢をかなえ将来への希望の灯火を消さないために温かい愛の手を差し伸べてください。ご協力くださる方は下記の口座へ。

郵便振替口座 00100-1-171252

あしなが育英会震災遺児

震災遺児やガン遺児等、進学困難な遺児に継続して奨学金を送って下さる教育里親「あしながさん」を募集しています。ご支援いただける方は「あしなが育英会」迄ご連絡下さい。詳しい資料と専用振込用紙が送られます。

あしなが育英会

〒102 東京都千代田区平河町1-6-8

平河町貝坂ビル

☎ 03-3221-0088 FAX 03-3221-7676

お知らせ

333-C 第42回年次大会について

「ウィサーブ!創造・そして挑戦」を大会スローガンに楽しいイベント等を企画しています。多くのLの来会をお待ちしています。

日時:1996年4月28日(日)

場所:船橋市 船橋アリーナ(船橋市総合体育館)

前夜祭:1996年4月27日(土)

場所:船橋市ホテルサンガーデンららぽーと

あけましておめでとうござります

旧年中はPR情報活動と地区ニュースにご協力を賜りありがとうございました。本年もよろしくお祈り申し上げます。

地区PR情報委員会 一同
 地区ニュース編集委員

編集後記

三回目の編集にあたって我がチームもようやく軌道に乗って来たように思う。初谷昌彦地区PR情報副委員長L.はじめ、地区PR情報委員、地区ニュース編集委員の各ライオン、またご投稿下さったライオンのお陰と深く感謝している。編集の過程で、この人にはこんな才能があったのかとか、この人の情熱は凄いなと思うことが多々である。改めて「友の美点を見つめ」である。

L. K. Y

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 地区ニュース

創造 No.3

(1996年1月1日発行)

発行人 地区ガバナー 林 静誠

編集人 地区PR情報委員長 山中康誠

印刷所 (有)東都印刷

発行所 ライオンズクラブ国際協会333C地区
 キャビネット事務局

〒260 千葉市中央区問屋町1番55号シーオービル6F

TEL043-243-2528 FAX043-247-4756

らららら…と楽しいホテルです。

ご宿泊 ご婚礼 ご宴会 セミナー



客室243室
和・洋・中レストラン
大・中・小宴会場(7室)
結婚式場
ららぽーと教会チャピー
迎賓館 喜翁閣
専用駐車場150台



船橋ららぽーと内 地上12階・地下1階

 ホテルサンガーデンららぽーと

GARDEN HOTELS

船橋市浜町2-1-1 ☎ (0474) 31-7531



船橋グランドホテルはさり気なさの中にも
“心のあるサービス”を
いつまでも大切にしたいと存じます

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・セミナー



船橋グランドホテル

〒273 千葉県船橋市本町7-11-1
JR/船橋駅北口徒歩3分 ☎ 0474 (25) 1121 (代)

先様の気持を生かす、 心くばりの贈り物。東武の商品券



全国有名百貨店でショッピングをはじめ、お食事、ご旅行など、使い方自由自在。

グッドデパートメント

TOBU

船橋 東武

船橋市本町7-1-1〒273 TEL.代表/0474-25-2211
開店10時/閉店7時 地階食料品・1階・2階は8時まで営業